

**国際通貨研究所中国ミニウェビナー**

**中国の貿易・投資の変化から  
読み解くデリスキングの実態**

**2024年1月30日**

**名古屋外国語大学**

**真家陽一**

**maie@nufs.ac.jp**

**1985年、大学卒業後、銀行系シンクタンク等を経て、**

**2001年、日本貿易振興会**

**(ジェトロ、現・日本貿易振興機構)入会**

**2004年4月、北京事務所 次長(調査担当)**

**2009年1月、海外調査部 中国北アジア課長**

**2014年4月、北京事務所 次長(調査担当)**

**(北京に2回、通算で7年4カ月駐在)**

**2016年9月より現職**

## **<外部委員等>**

- **日立総合計画研究所 リサーチフェロー**
- **日本貿易振興機構 中国経済ビジネス委員会 委員**
- **国際貿易投資研究所 客員研究員**
- **大阪商工会議所 中国ビジネス委員会 委員**

# 本日お話しさせていただく内容

- ① 世界と中国の貿易動向
- ② 世界と中国の直接投資動向
- ③ デリスキングに対応した日欧米企業の動向

# 本日お話しさせていただく内容

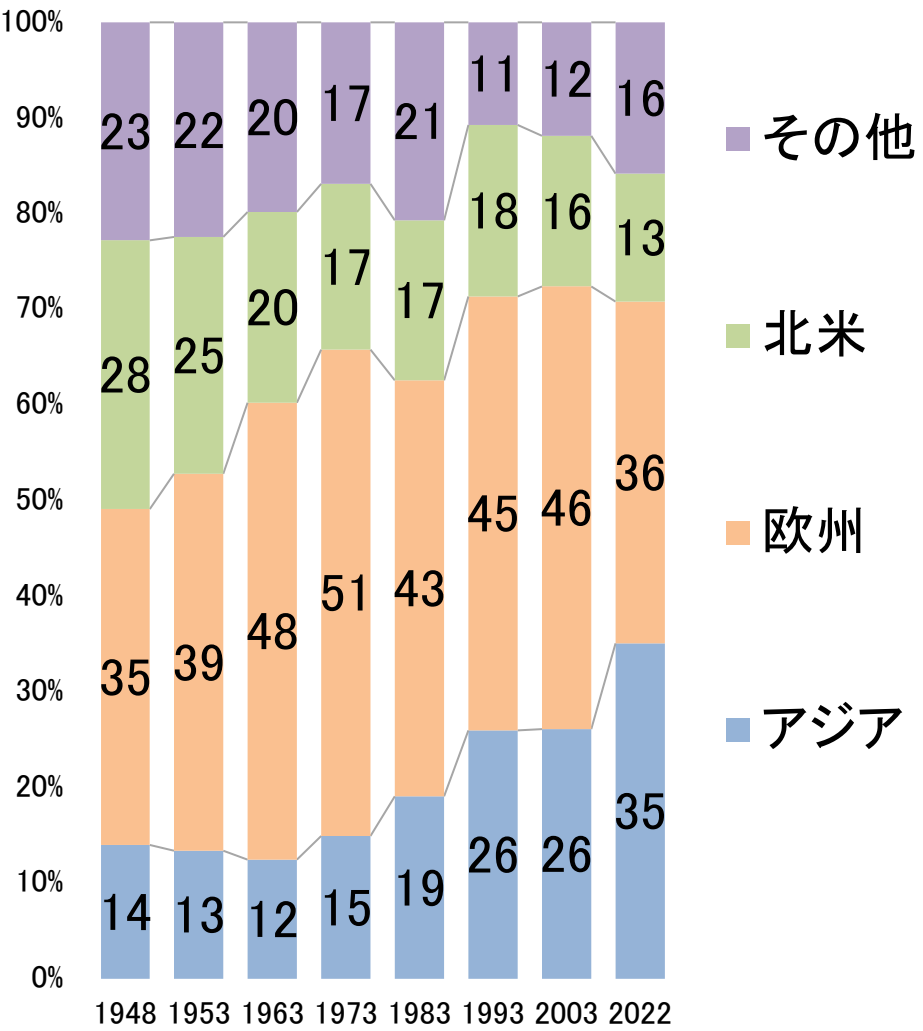
① 世界と中国の貿易動向

② 世界と中国の直接投資動向

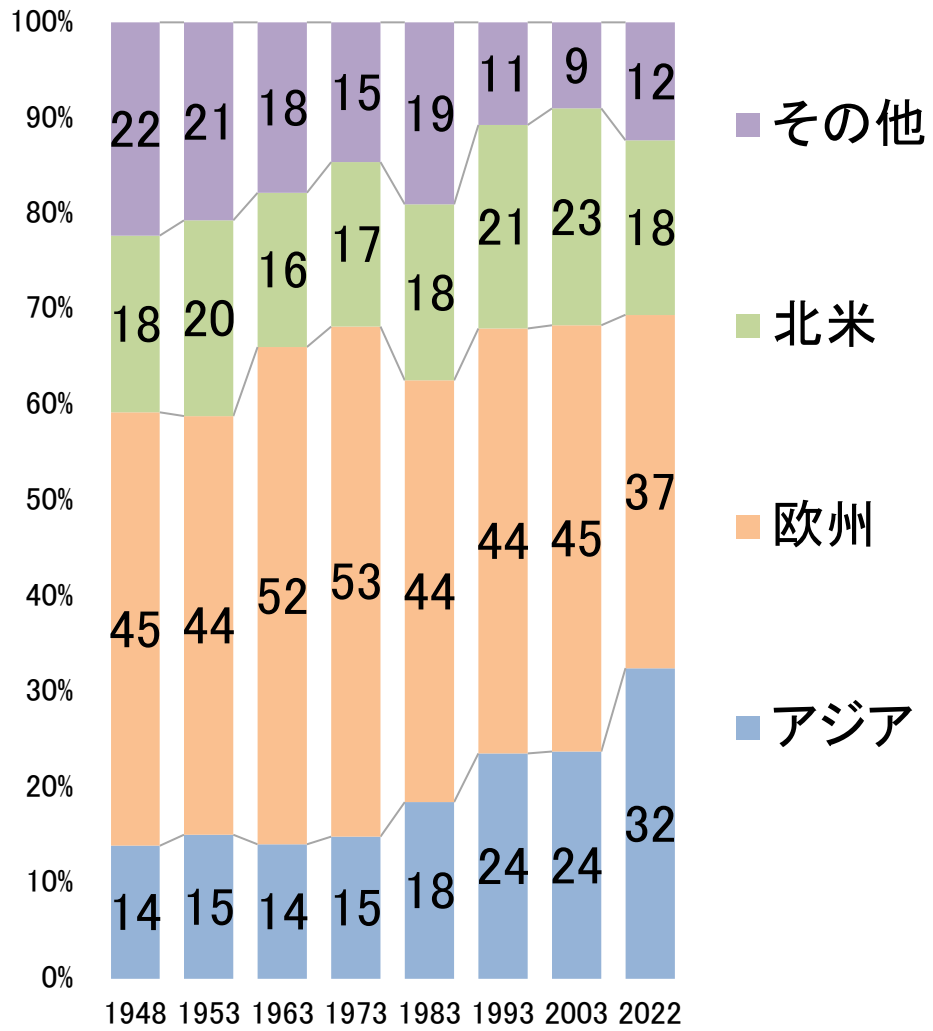
③ デリスキングに対応した日欧米企業の動向

# 世界貿易の地域別シェアの推移

## 輸出



## 輸入



(出所)WTO「World Trade Statistical Review 2023」を基に作成

# 世界の貿易ランキング(2022年)

輸出					輸入				
	国・地域	金額 (億ドル)	構成比 (%)	伸び率 (%)		国・地域	金額 (億ドル)	構成比 (%)	伸び率 (%)
1	中国	35,936	14.4	7.0	1	米国	33,762	13.2	15.0
2	米国	20,648	8.3	17.7	2	中国	27,160	10.6	1.1
3	ドイツ	16,555	6.6	1.1	3	ドイツ	15,715	6.1	10.5
4	オランダ	9,655	3.9	14.9	4	オランダ	8,985	3.5	18.6
5	日本	7,469	3.0	▲ 1.2	5	日本	8,972	3.5	16.7
6	韓国	6,836	2.7	6.1	6	英国	8,239	3.2	18.6
7	イタリア	6,569	2.6	6.7	7	フランス	8,180	3.2	14.4
8	ベルギー	6,329	2.5	15.3	8	韓国	7,314	2.9	18.9
9	フランス	6,178	2.5	5.6	9	インド	7,233	2.8	26.2
10	香港	6,099	2.4	▲ 9.0	10	イタリア	6,895	2.7	21.5

(出所)WTO「World Trade Statistical Review 2023」を基に作成

# 主要国・地域の貿易マトリクス

輸入		世界									
			USMCA	米国	EU	英国	日本	韓国	台湾	中国	ASEAN
輸出											
世界		16.5	16.0	14.0	20.6	9.8	15.3	16.4	1.3	0.3	18.4
主要国・地域	USMCA	25.7	26.3	29.2	49.3	25.2	12.1	2.2	10.3	10.9	18.1
	米国	25.9	22.9	-	53.8	39.0	9.6	1.2	13.1	10.8	17.0
	EU	13.1	7.6	5.4	17.8	7.7	▲ 7.1	▲ 11.5	12.6	▲ 14.2	2.7
	英国	22.8	▲ 0.8	▲ 0.6	21.1	-	▲ 20.7	▲ 23.0	13.4	▲ 11.4	25.9
	日本	▲ 3.9	5.8	4.9	1.0	17.6	-	▲ 1.1	▲ 7.9	▲ 24.0	0.1
	韓国	3.4	18.3	18.1	9.8	12.9	3.1	-	▲ 17.1	▲ 18.8	11.9
	台湾	▲ 0.6	12.1	12.1	24.8	7.6	24.4	1.2	-	▲ 25.1	3.1
	中国	15.8	0.4	▲ 3.3	14.3	▲ 4.7	5.3	22.4	▲ 7.2	-	32.3
	ASEAN	16.5	19.8	18.3	15.1	15.4	15.6	20.5	5.2	19.9	16.0

〈凡例〉	0~10%未満
30%以上	▲0~10%
20~30%未満	▲10~20%
10~20%未満	▲20%以下

(注1) 輸出ベースで作成  
 (注2) 2021年と比較した際の2023年の伸び率(第1四半期ベース)  
 (出所) ジェトロ「世界貿易投資報告」2023年版(2023年7月)

# 中国の国・地域別貿易動向(2023年)

	国・地域	金額(100万ドル)			伸び率(%)		
		貿易総額	輸出	輸入	貿易総額	輸出	輸入
1	ASEAN	911,718	523,674	388,044	▲ 4.9	▲ 5.0	▲ 4.8
2	EU	782,987	501,233	281,753	▲ 7.1	▲ 10.2	▲ 0.9
3	米国	664,451	500,291	164,160	▲ 11.6	▲ 13.1	▲ 6.8
4	日本	317,999	157,524	160,475	▲ 10.7	▲ 8.4	▲ 12.9
5	韓国	310,737	148,987	161,750	▲ 13.5	▲ 7.2	▲ 18.7
6	香港	288,226	274,554	13,671	▲ 4.2	▲ 6.3	76.4
7	台湾	267,836	68,486	199,350	▲ 15.6	▲ 16.0	▲ 15.4
8	ロシア	240,112	110,972	129,139	26.3	46.9	12.7
9	オーストラリア	229,196	73,811	155,385	4.1	▲ 5.3	9.3
10	ブラジル	181,529	59,108	122,421	6.1	▲ 4.3	11.9
	総額	5,936,826	3,380,024	2,556,802	▲ 5.0	▲ 4.6	▲ 5.5

(出所)税関総署の公表資料を基に作成



# 中国の品目別輸出動向(2023年)

品目	単位	数量	金額 (100万ドル)	伸び率(%)	
				数量	金額
機械・電気製品	-	-	1,978,661	-	▲ 2.4
電子部品	-	-	252,803	-	▲ 9.6
集積回路(IC)	億個	2,678	135,974	▲ 1.8	▲ 10.1
太陽電池	万个	563,674	43,682	38.5	▲ 5.7
自動データ処理機械	-	-	187,513	-	▲ 20.4
電気機械器具	-	-	182,965	-	5.2
リチウムイオン電池	万个	362,143	65,007	▲ 3.8	27.8
携帯電話	万台	80,213	138,799	▲ 2.0	▲ 2.7
自動車	万台	522	101,612	57.4	69.0
新エネルギー自動車	万台	177	41,813	67.1	73.4
家電製品	万台	371,741	87,778	11.2	3.8
アパレル品	-	-	159,145	-	▲ 7.8
繊維製品	-	-	134,498	-	▲ 8.3
プラスチック製品	-	-	100,809	-	▲ 3.9
農産物	-	-	98,929	-	0.9
鋼材	万トン	9,026	84,556	36.2	▲ 8.3
家具	-	-	64,196	-	▲ 5.2
有機化学品	-	-	57,510	-	▲ 25.8

(出所)税関総署の公表資料を基に作成

# 中国の品目別輸入動向(2023年)

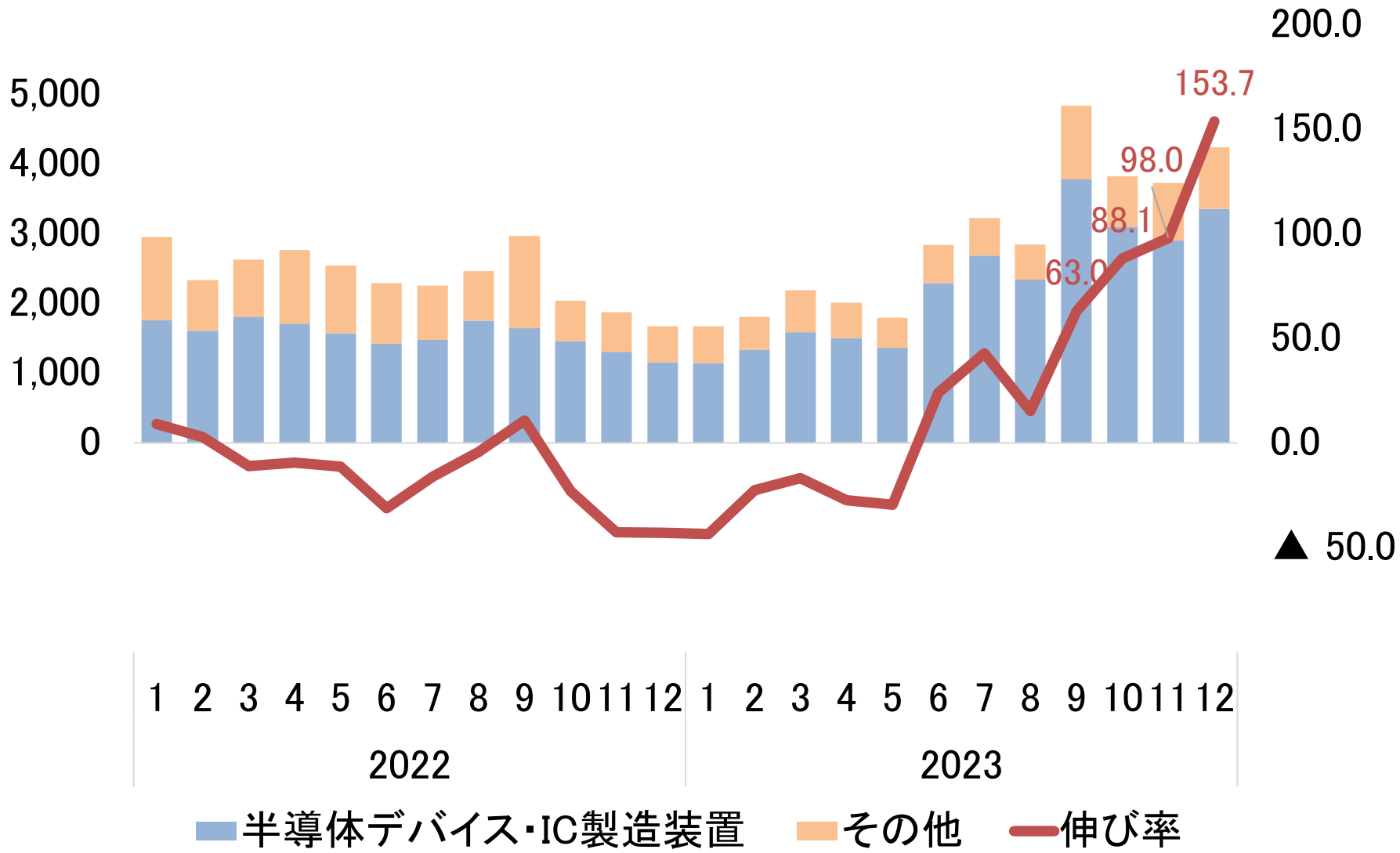
品目	単位	数量	金額 (100万ドル)	伸び率(%)	
				数量	金額
機械・電気製品	-	-	928,031	-	▲ 10.7
電子部品	-	-	398,165	-	▲ 15.9
集積回路(IC)	億個	4,796	349,377	▲ 10.8	▲ 15.4
自動データ処理機械	-	-	50,469	-	▲ 10.7
自動車	万台	80	47,054	▲ 8.9	▲ 11.6
計量・検査・分析装置	-	-	41,845	-	▲ 3.1
電気設備	-	-	37,431	-	▲ 13.4
半導体等製造装置	台	54,928	35,016	▲ 24.9	21.5
自動車部品	-	-	27,458	-	▲ 12.1
原油	万トン	56,399	337,494	11.0	▲ 7.7
金属鉱	万トン	145,842	237,826	7.6	5.9
農産物	-	-	234,106	-	▲ 0.3
大豆	万トン	9,941	59,755	11.4	▲ 0.5
天然ガス	万トン	11,997	64,341	9.9	▲ 8.1
石炭	万トン	47,442	52,966	61.8	24.1
医薬品	トン	385,050	51,785	23.6	7.8
未鍛造圧延銅および銅材	万トン	550	47,683	▲ 6.3	▲ 12.1
有機化学品	-	-	47,415	-	▲ 17.2

(出所)税関総署の公表資料を基に作成

# 中国の半導体等製造装置の輸入額の推移

(100万ドル)

(%)



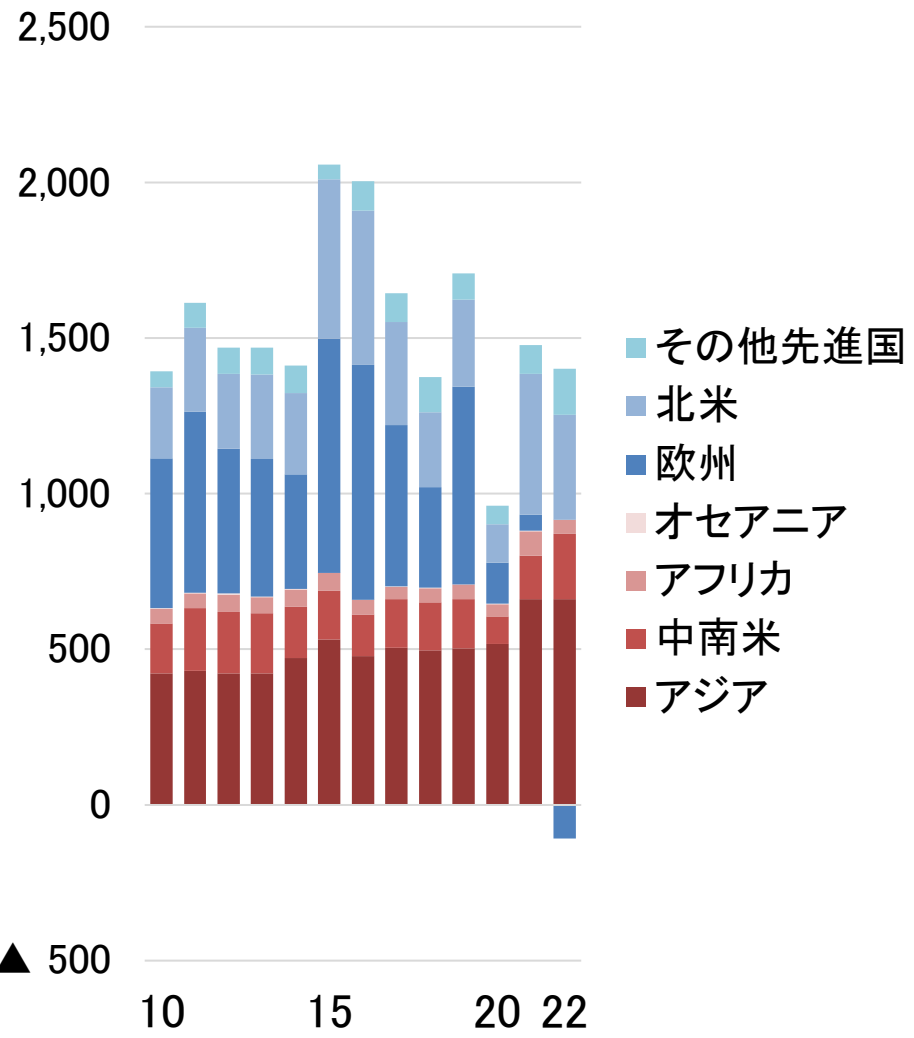
(出所) 税関総署の公表資料を基に作成

# 本日お話しさせていただく内容

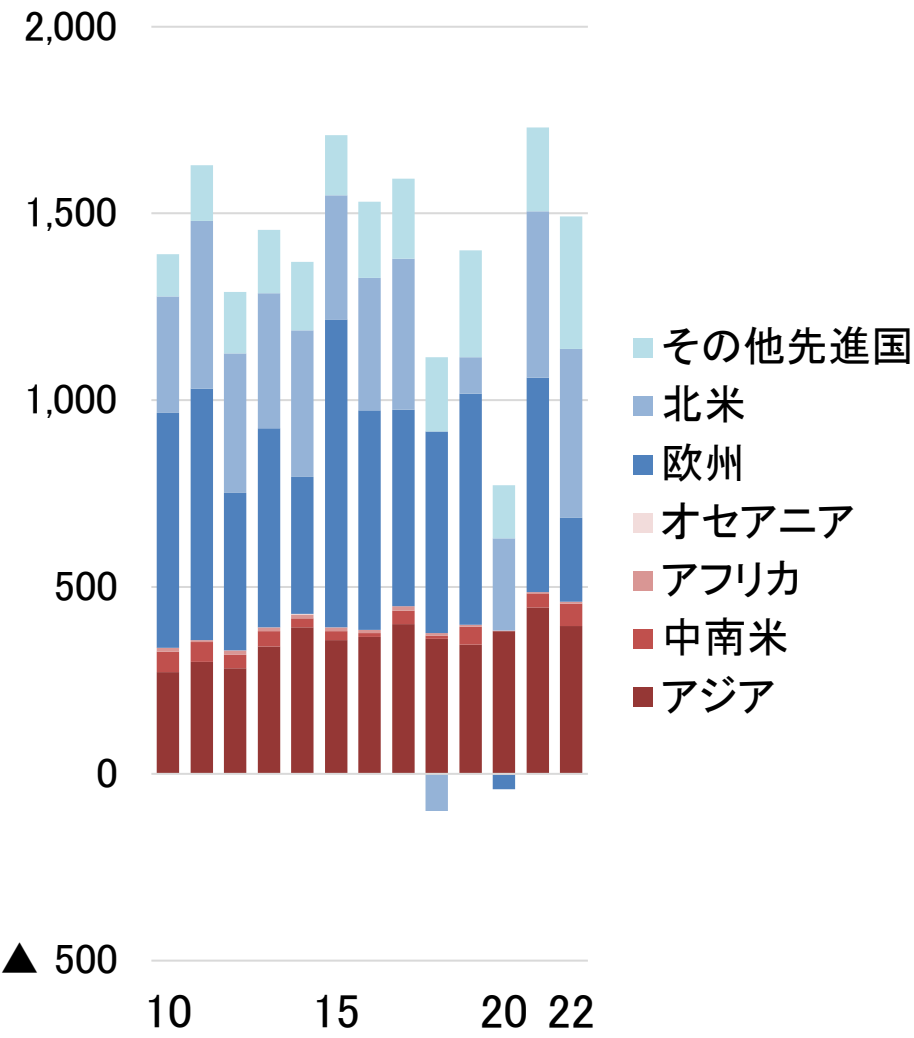
- ① 世界と中国の貿易動向
- ② 世界と中国の直接投資動向
- ③ デリスキングに対応した日欧米企業の動向

# 世界の直接投資の推移

(10億ドル) 対内直接投資



(10億ドル) 対外直接投資

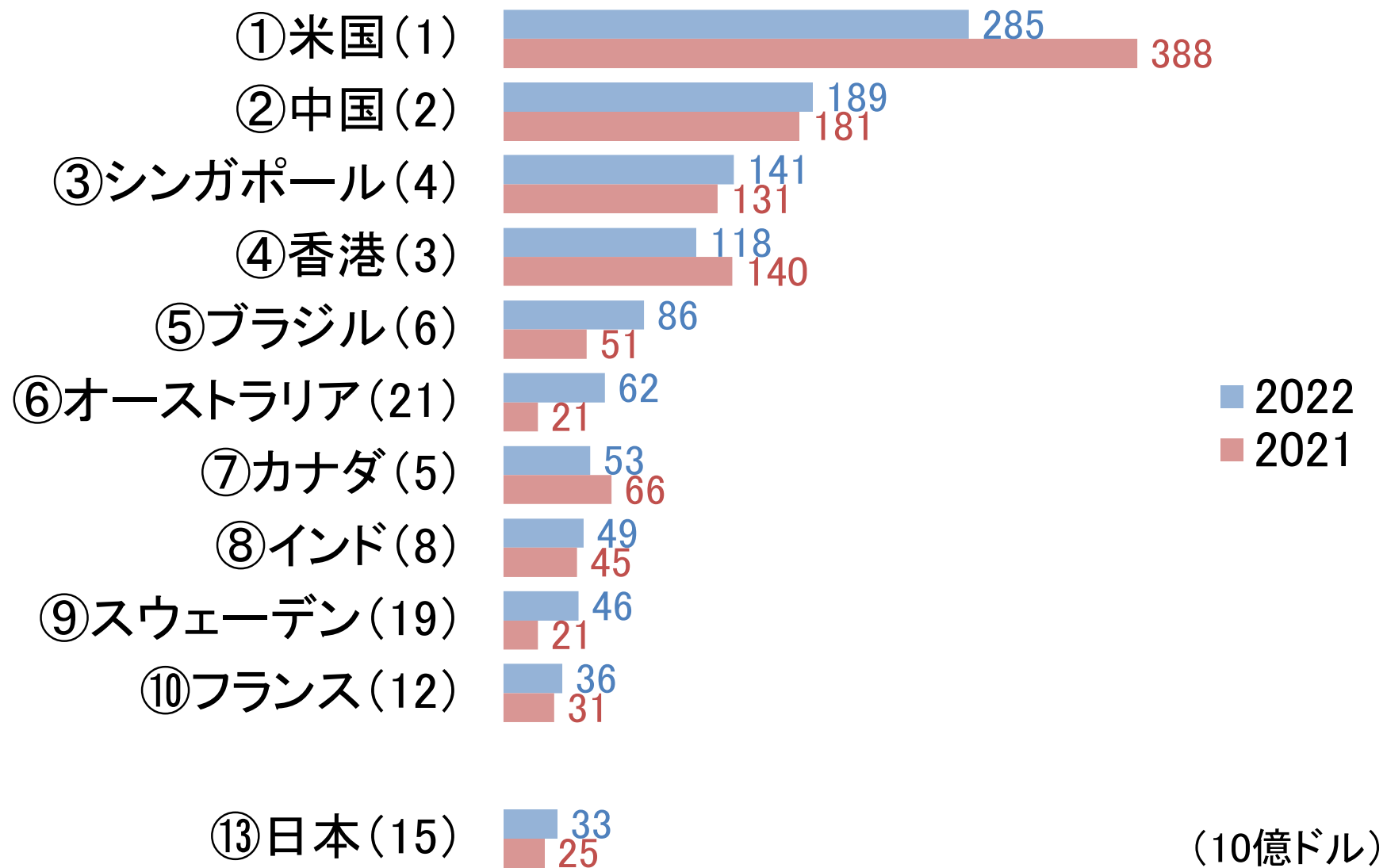


▲ 500

▲ 500

(出所) UNCTAD「WORLD INVESTMENT REPORT 2023」を基に作成

# 世界の対内直接投資ランキング

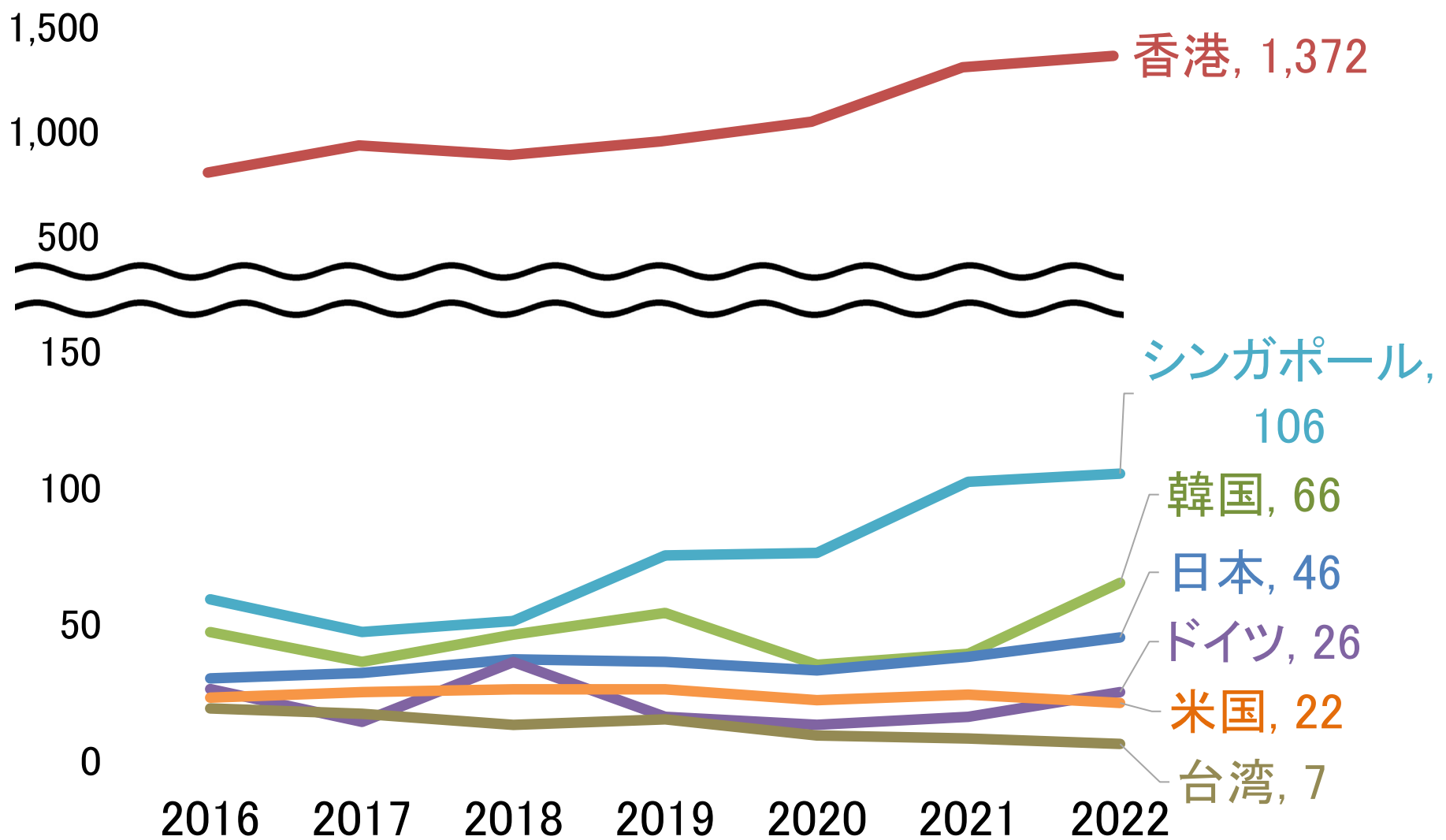


(注) ( )は2021年の順位

(出所) UNCTAD「WORLD INVESTMENT REPORT 2023」を基に作成

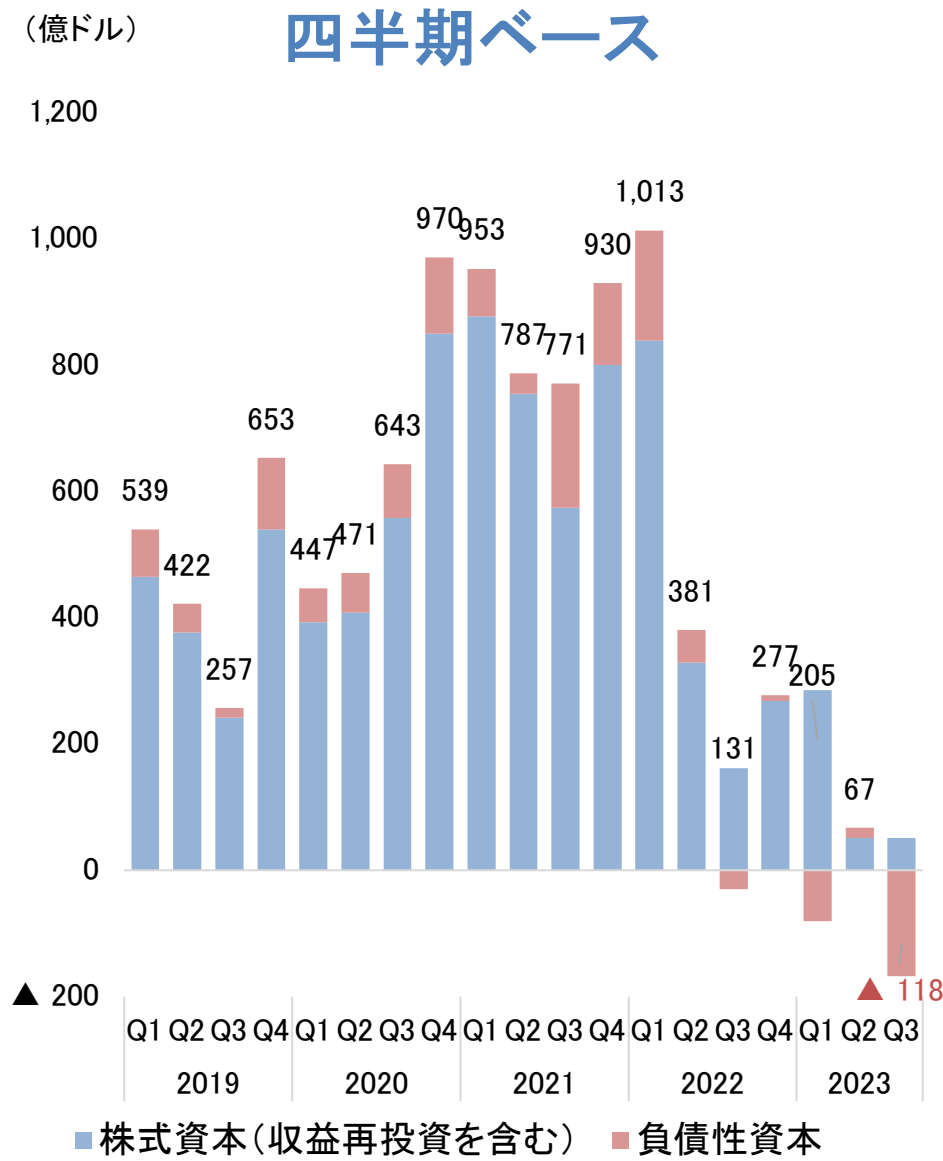
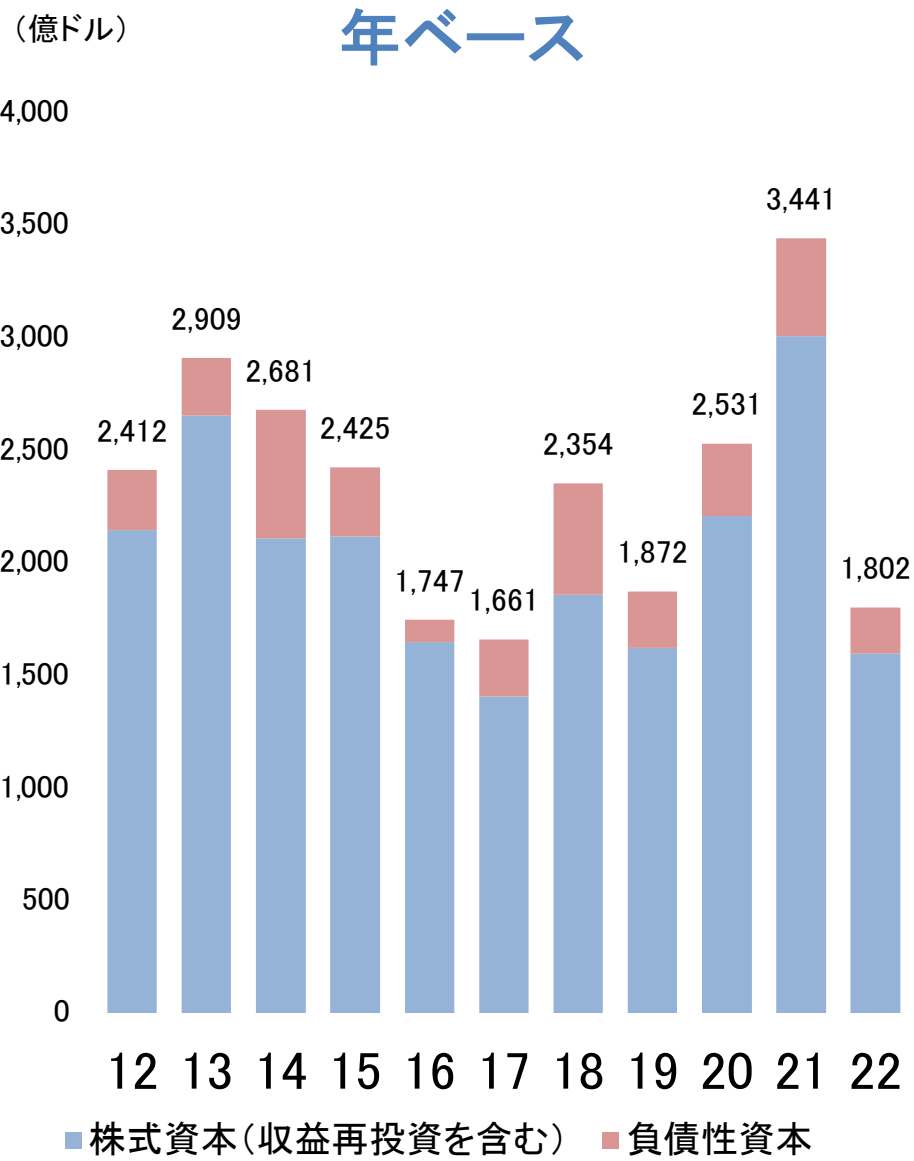
# 中国の国・地域別対内直接投資の推移

(億ドル)



(出所) 国家統計局「中国統計摘要2023」を基に作成

# 中国の対内直接投資(国際収支ベース)



(出所) 国家外貨管理局の公表資料を基に作成

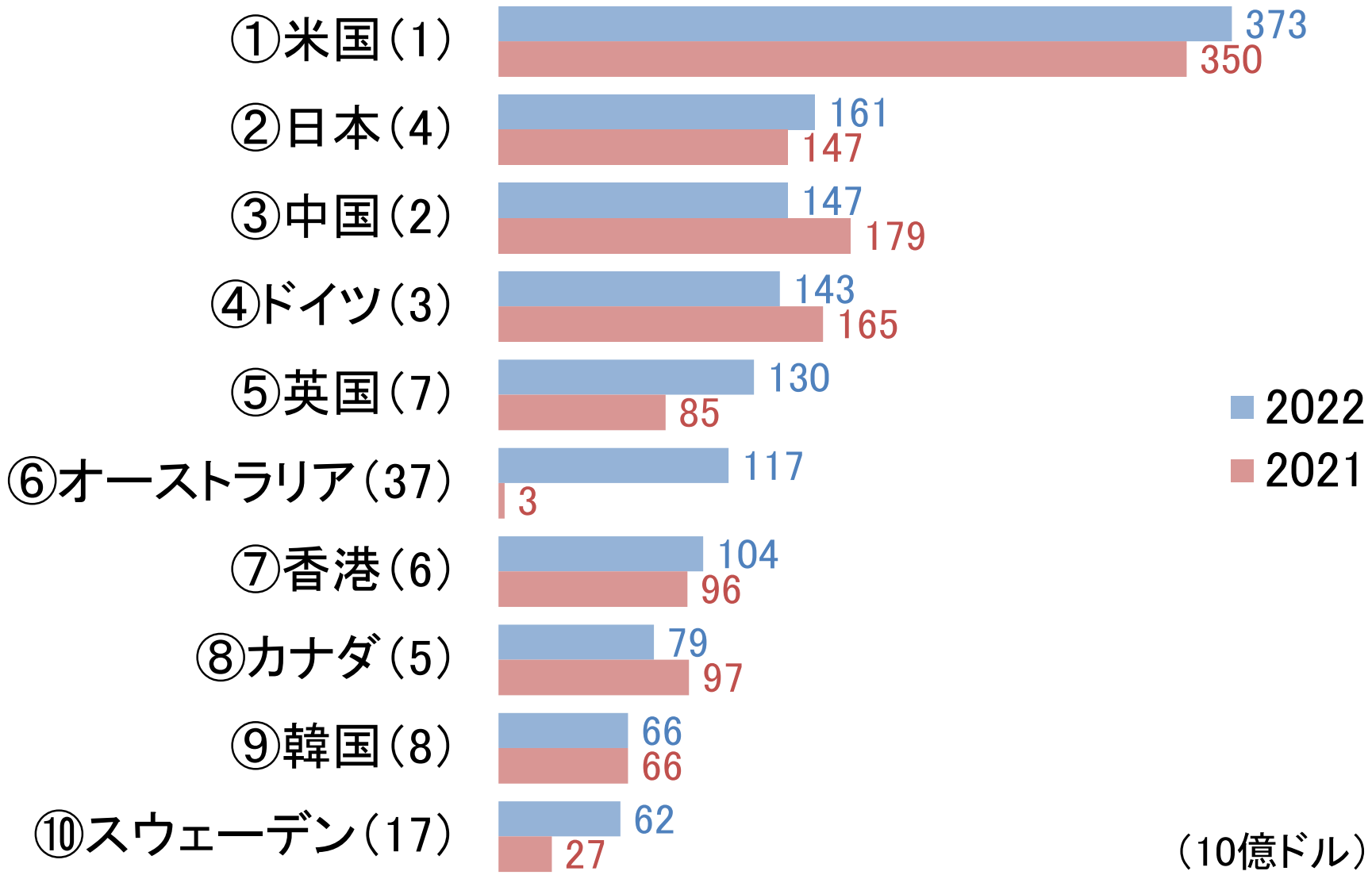


# 中国の対内直接投資の減少要因

	項目	概要
①	労働集約型企業の移転	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国内の労働力や土地のコスト上昇に伴い、コストに敏感な労働集約型企業が発展戦略および各国との比較優位に基づき、グローバルに配置を調整し、生産能力を移転。</li></ul>
②	競争優位性の低下に伴う撤退	<ul style="list-style-type: none"><li>● 近年、中国企業の技術レベルと生産能力が向上したことで、外資企業は厳しい市場競争に直面。</li><li>● 一部の外資企業は競争優位性が低下し、中国市場からの撤退を選択。</li></ul>
③	投資の転換・高度化	<ul style="list-style-type: none"><li>● 多くの外資企業は国内産業の高度化に対応し、中国での投資配置を積極的に調整。</li><li>● 携帯電話、パソコン、家電の生産ラインを閉鎖・移転する一方、新型ディスプレイ、新エネルギー電池等のハイテク製品の生産ラインを増やし、研究開発センターへの投資を拡大。</li></ul>
④	投資の分散	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地政学的要因が資本移動に与える影響が高まり、一部の国は産業と資金の回帰を推進、中国関連投資の制限措置を導入し、国境を越えた正常な投資の意思決定を阻害。</li><li>● 一部の多国籍企業は新規投資の一部を他国に分散。</li></ul>

(出所)新華社「中国経済円卓会議 商務部:外資の進出と撤退は市場規律に合致、中国の質の高い外資導入の特徴が顕著に」(2024年1月8日)を基に作成

# 世界の対外直接投資ランキング

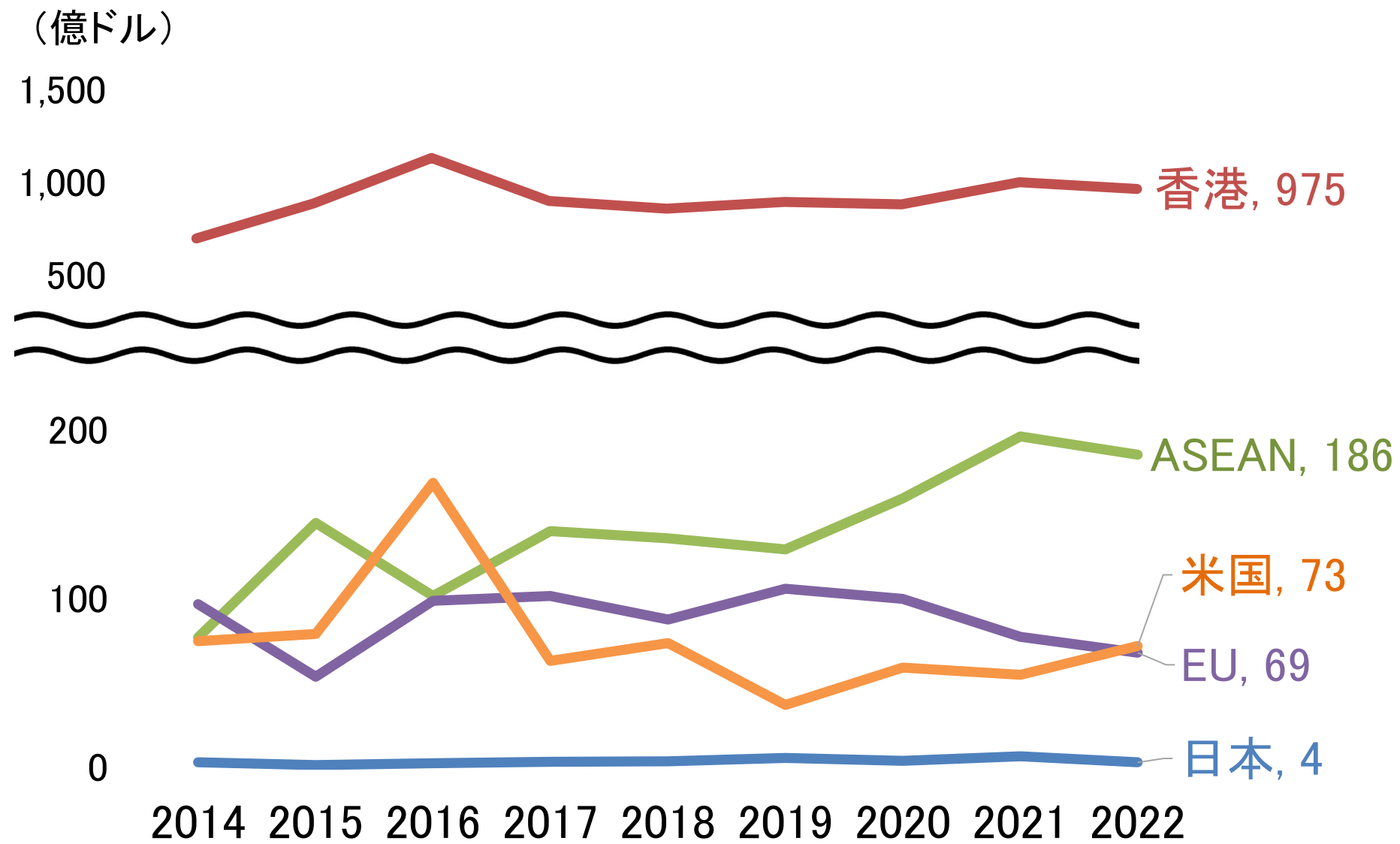


(注) ( )は2021年の順位

(出所) UNCTAD「WORLD INVESTMENT REPORT 2023」を基に作成

(10億ドル)

# 中国の国・地域別対外直接投資の推移

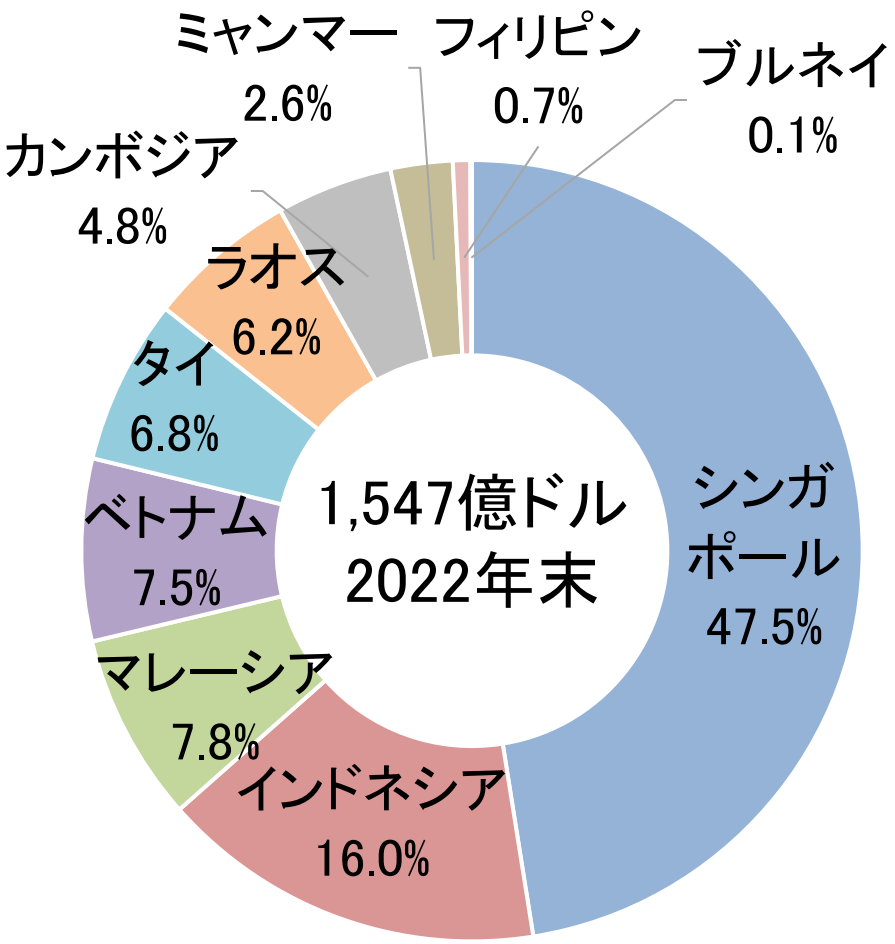


(注) EUは2020年以降、英国を含まない

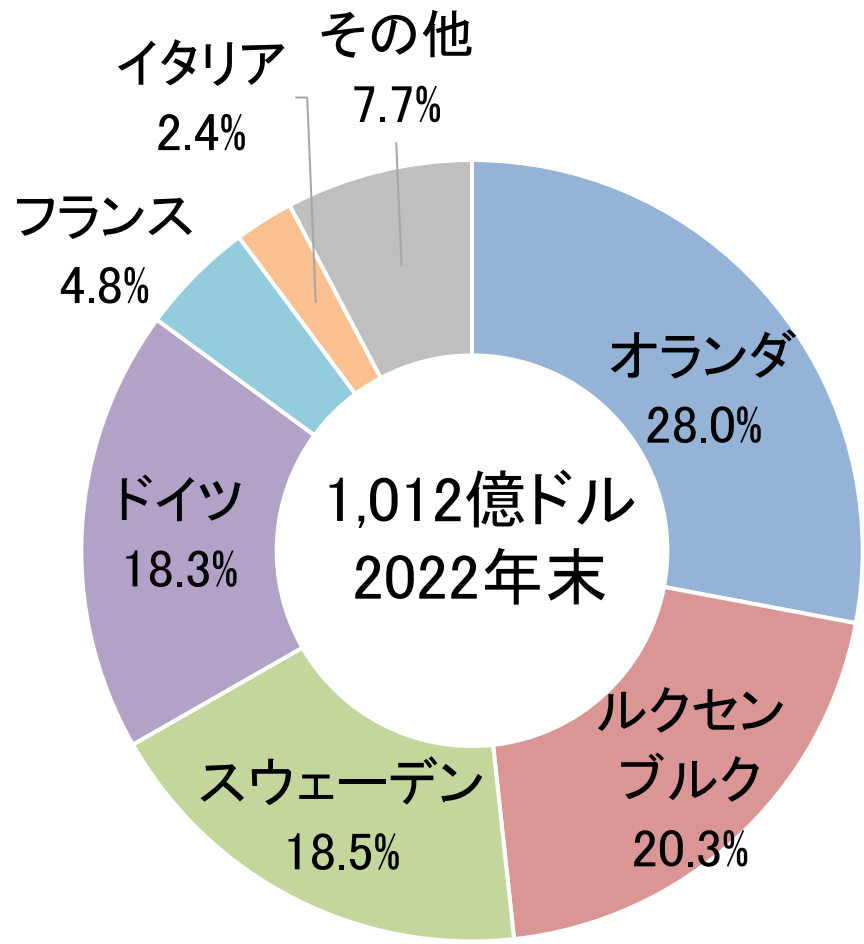
(出所) 商務部、国家統計局、国家外貨管理局「2022年度中国対外直接投資統計公報」を基に作成

# 中国の対ASEAN・EU直接投資(ストックベース)

## ASEAN



## EU

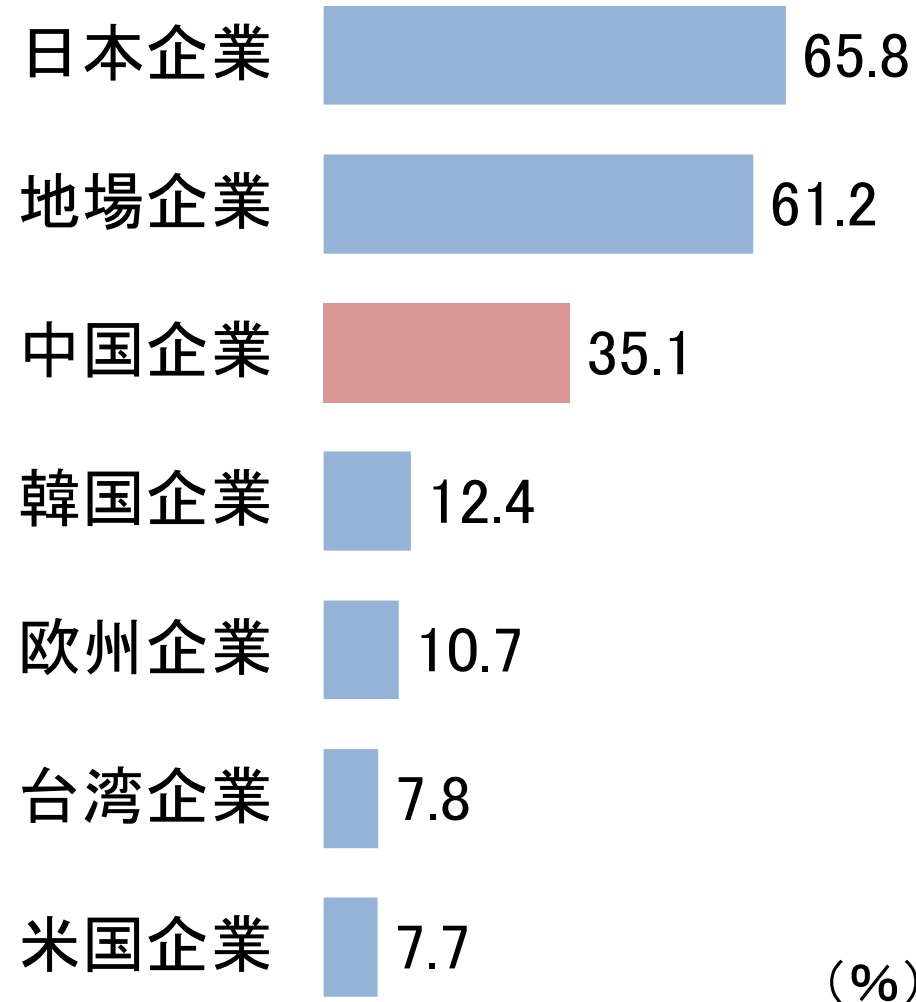


(注)EUは英国を含まない

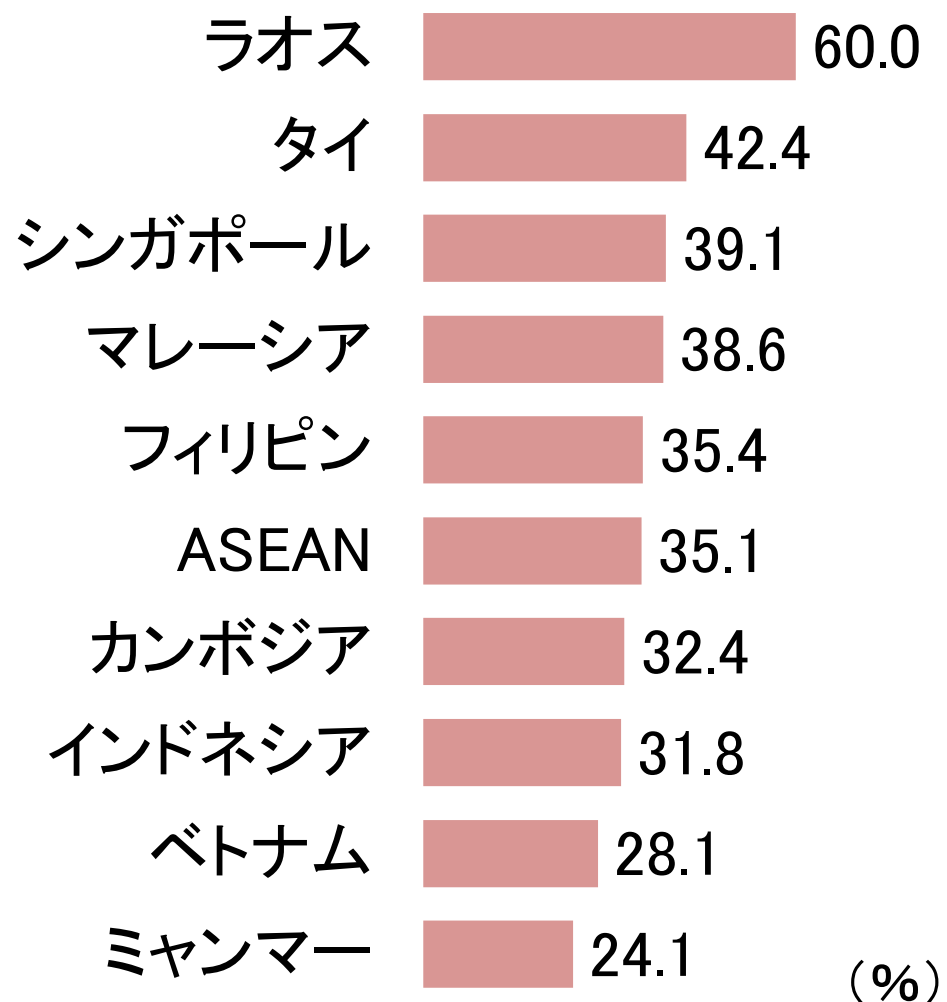
(出所) 商務部、国家統計局、国家外貨管理局「2022年度中国対外直接投資統計公報」を基に作成

# ASEAN進出日系企業の競争相手

## ASEAN



## 中国企業と回答した割合



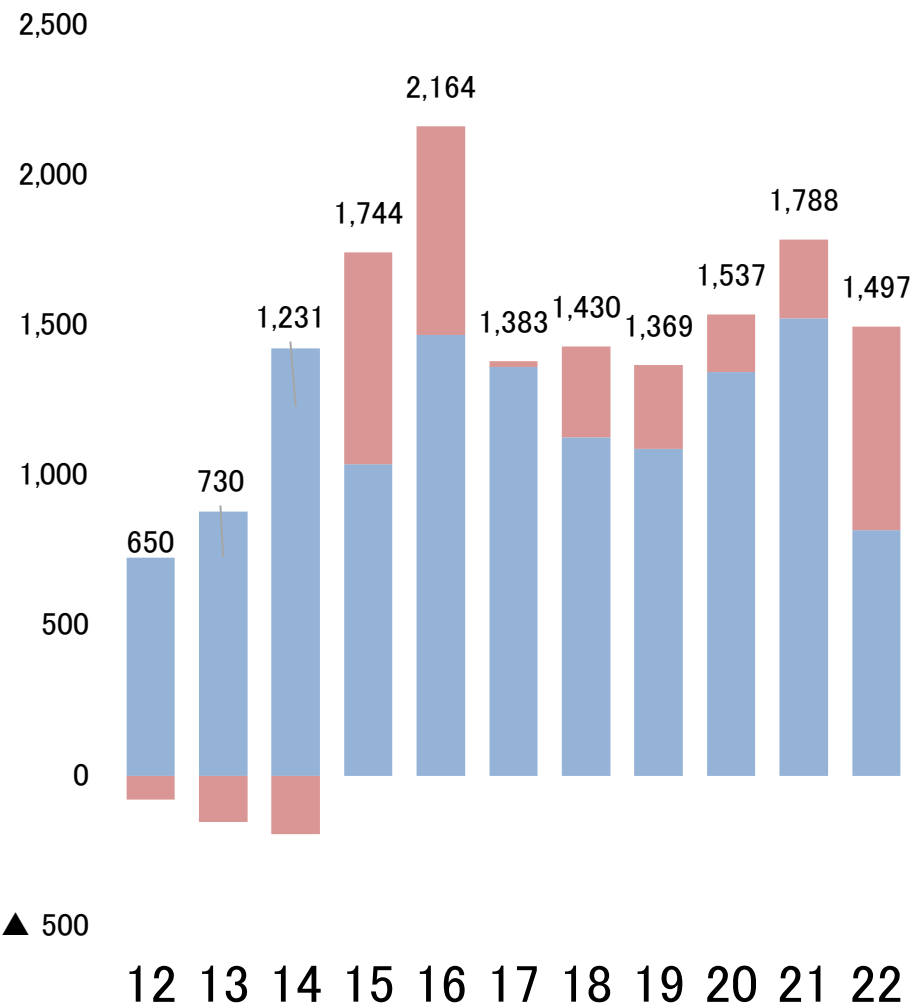
(%)

(%)

# 中国の対外直接投資(国際収支ベース)

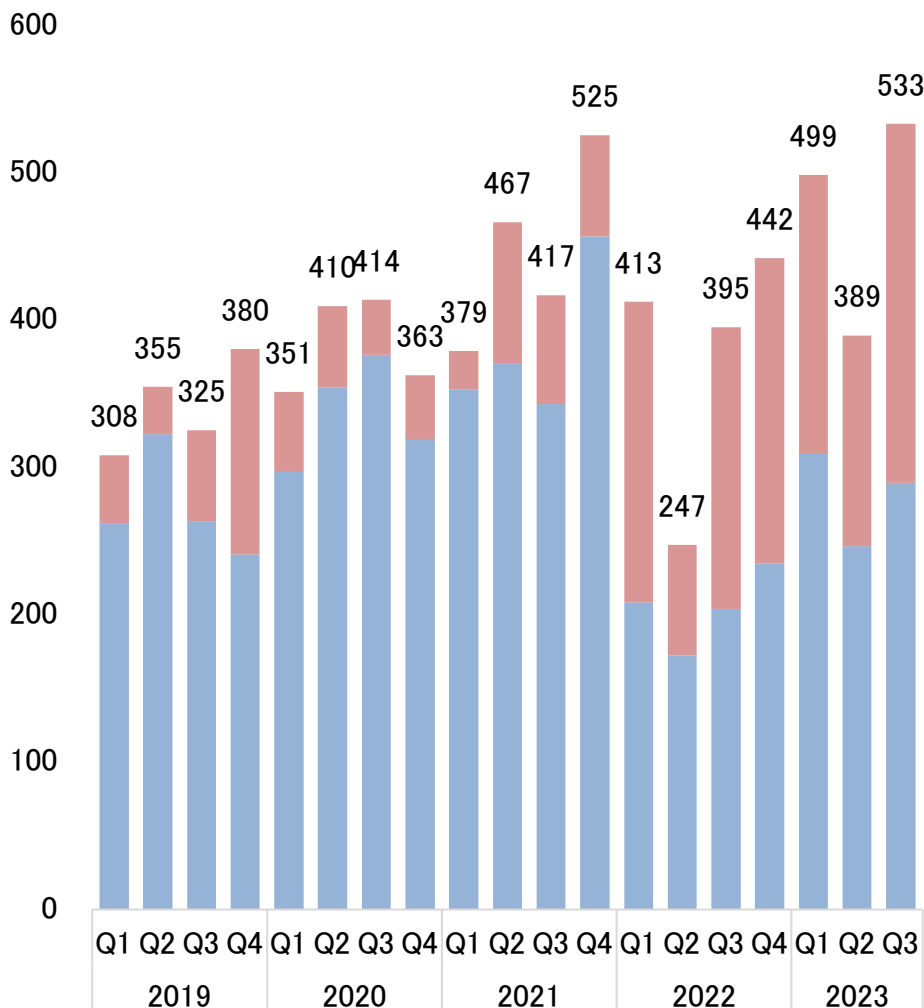
(億ドル)

## 年ベース



(億ドル)

## 四半期ベース



■ 株式資本(収益再投資を含む) ■ 負債性資本

■ 株式資本(収益再投資を含む) ■ 負債性資本

(出所) 国家外貨管理局の公表資料を基に作成

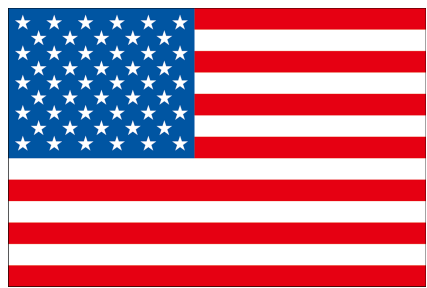
# 本日お話しさせていただく内容

① 世界と中国の貿易動向

② 世界と中国の直接投資動向

③ デリスキングに対応した日欧米企業の動向

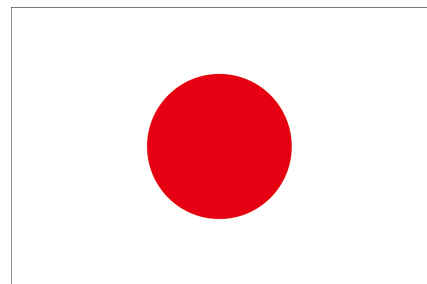
# 中国での日欧米企業の事業運営



① 米国企業



② 欧州企業



③ 日本企業

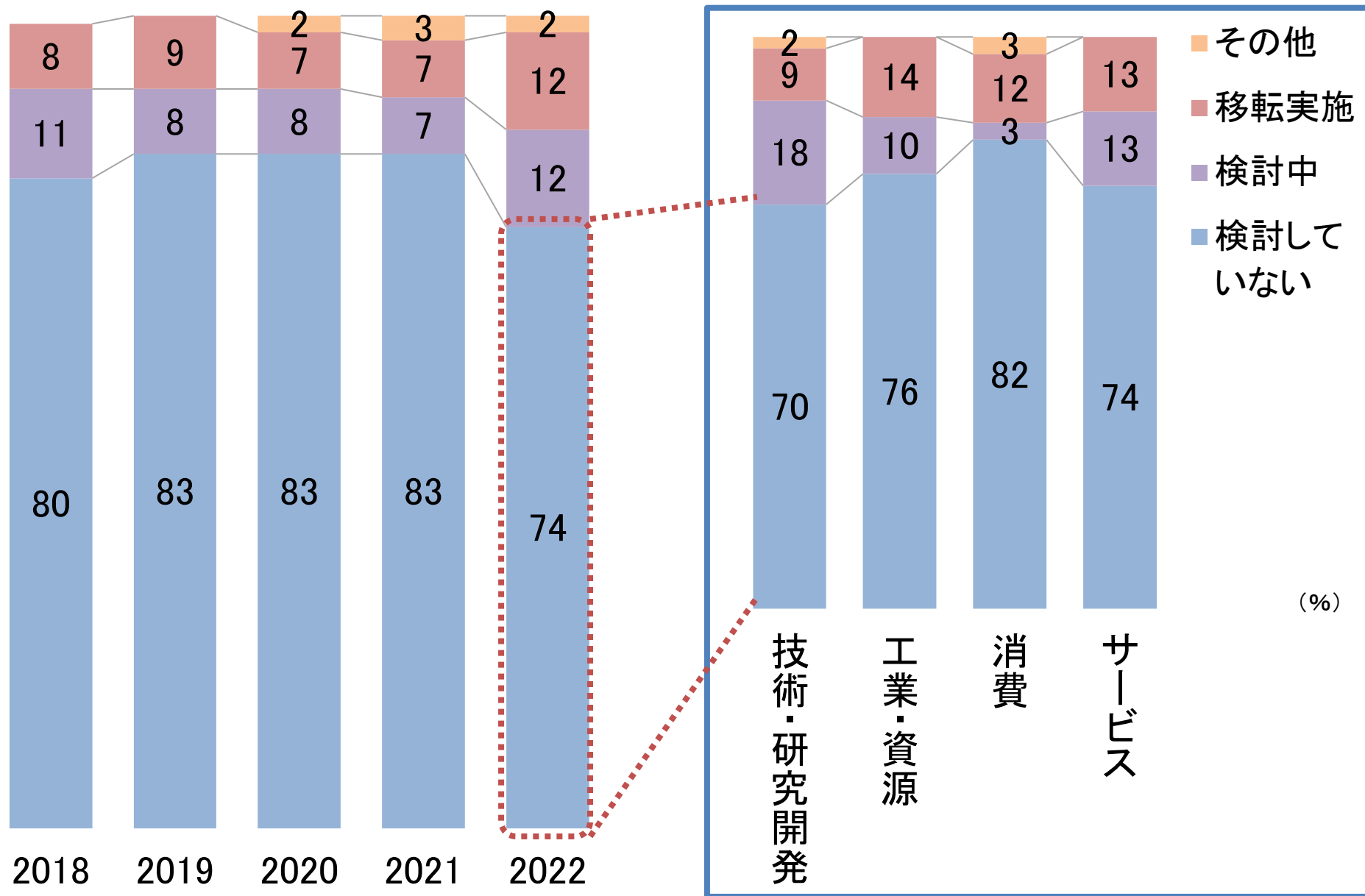


# 中国ビジネスにおける米国企業のリスク

	技術・研究開発	工業・資源	消費	サービス
①	米中関係の緊張の高まり	米中関係の緊張の高まり	COVID-19の防疫措置	米中関係の緊張の高まり
	<b>65%</b>	<b>72%</b>	<b>61%</b>	<b>69%</b>
②	COVID-19の防疫措置	COVID-19の防疫措置	米中関係の緊張の高まり	COVID-19の防疫措置
	<b>62%</b>	<b>48%</b>	<b>52%</b>	<b>54%</b>
③	データセキュリティへの懸念	一貫性のない規制解釈 不透明な法律と執行	一貫性のない規制解釈 不透明な法律と執行	一貫性のない規制解釈 不透明な法律と執行
	<b>40%</b>	<b>31%</b>	<b>36%</b>	<b>27%</b>
④	一貫性のない規制解釈 不透明な法律と執行	コンプライアンスリスク	コンプライアンスリスク	人件費の上昇
	<b>34%</b>	<b>25%</b>	<b>29%</b>	<b>26%</b>
⑤	中国の保護主義の高まり	知的財産権の侵害	人件費の上昇	優秀な従業員の不足
	<b>31%</b>	<b>21%</b>	<b>29%</b>	<b>23%</b>

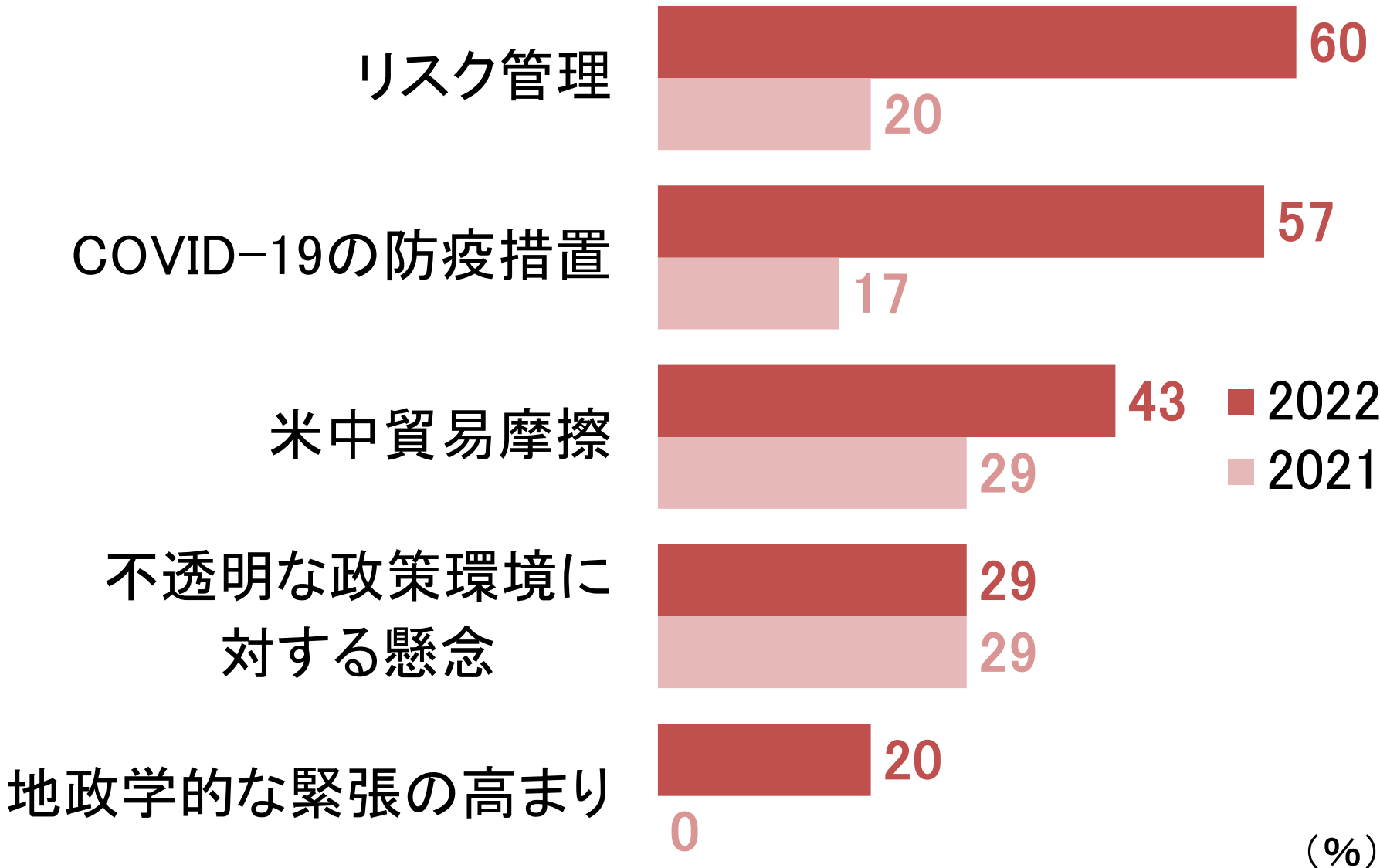
(出所) 中国米国商会「2023 China Business Climate Survey Report」(2023年3月)を基に作成

# 米国企業の中国国外への生産・調達に移転



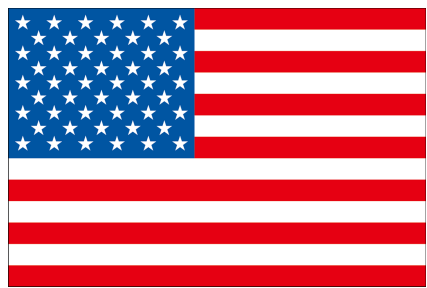
(出所) 中国米国商会「2023 China Business Climate Survey Report」(2023年3月)を基に作成

# 中国国外への移転を検討・実施する理由



(出所) 中国米国商会「2023 China Business Climate Survey Report」(2023年3月)を基に作成

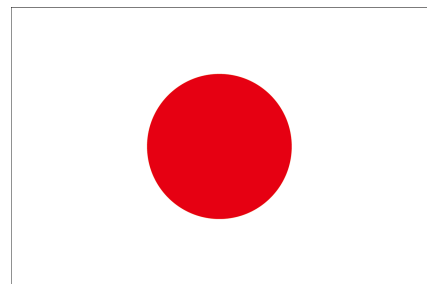
# 中国での日欧米企業の事業運営



① 米国企業

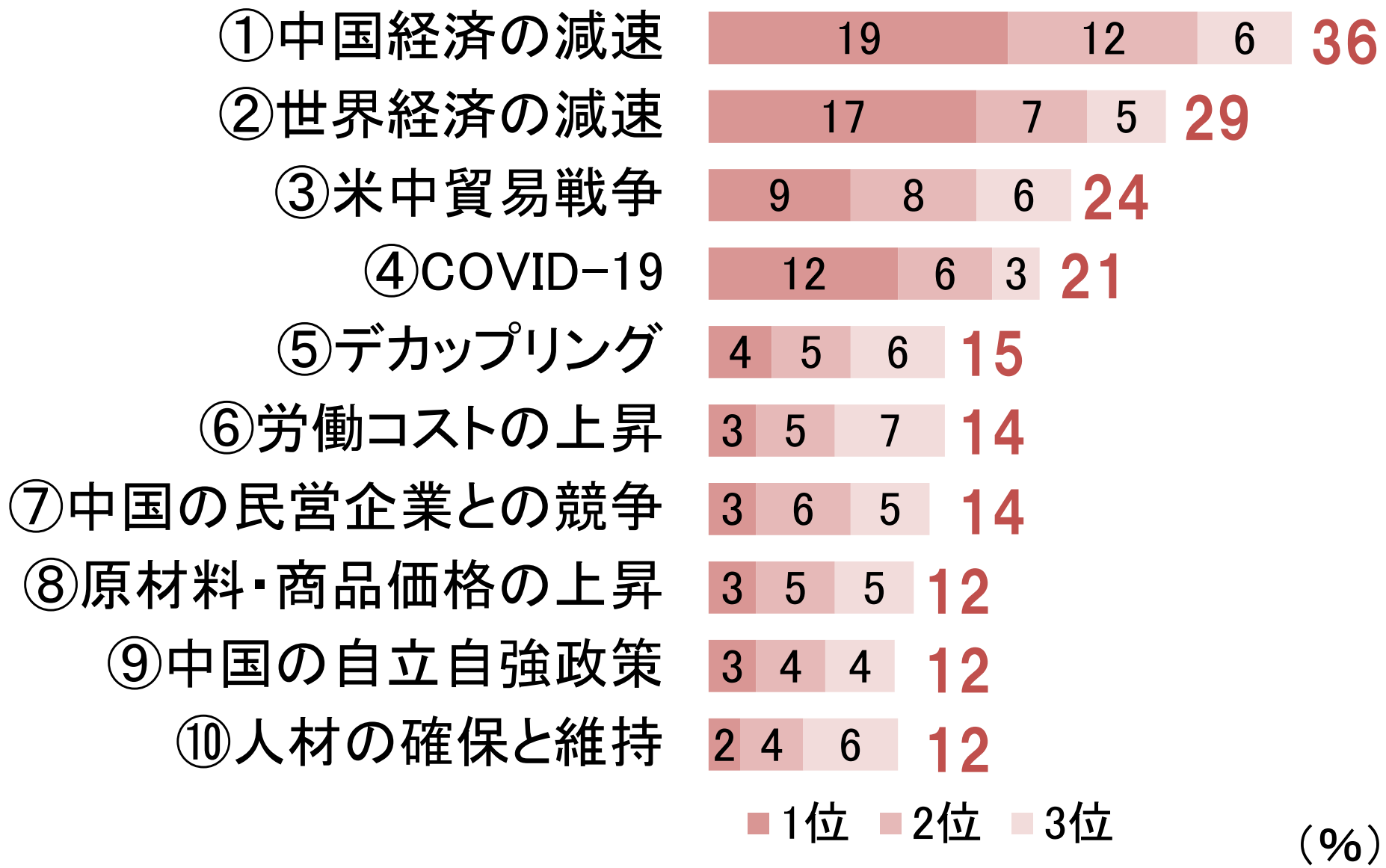


② 欧州企業



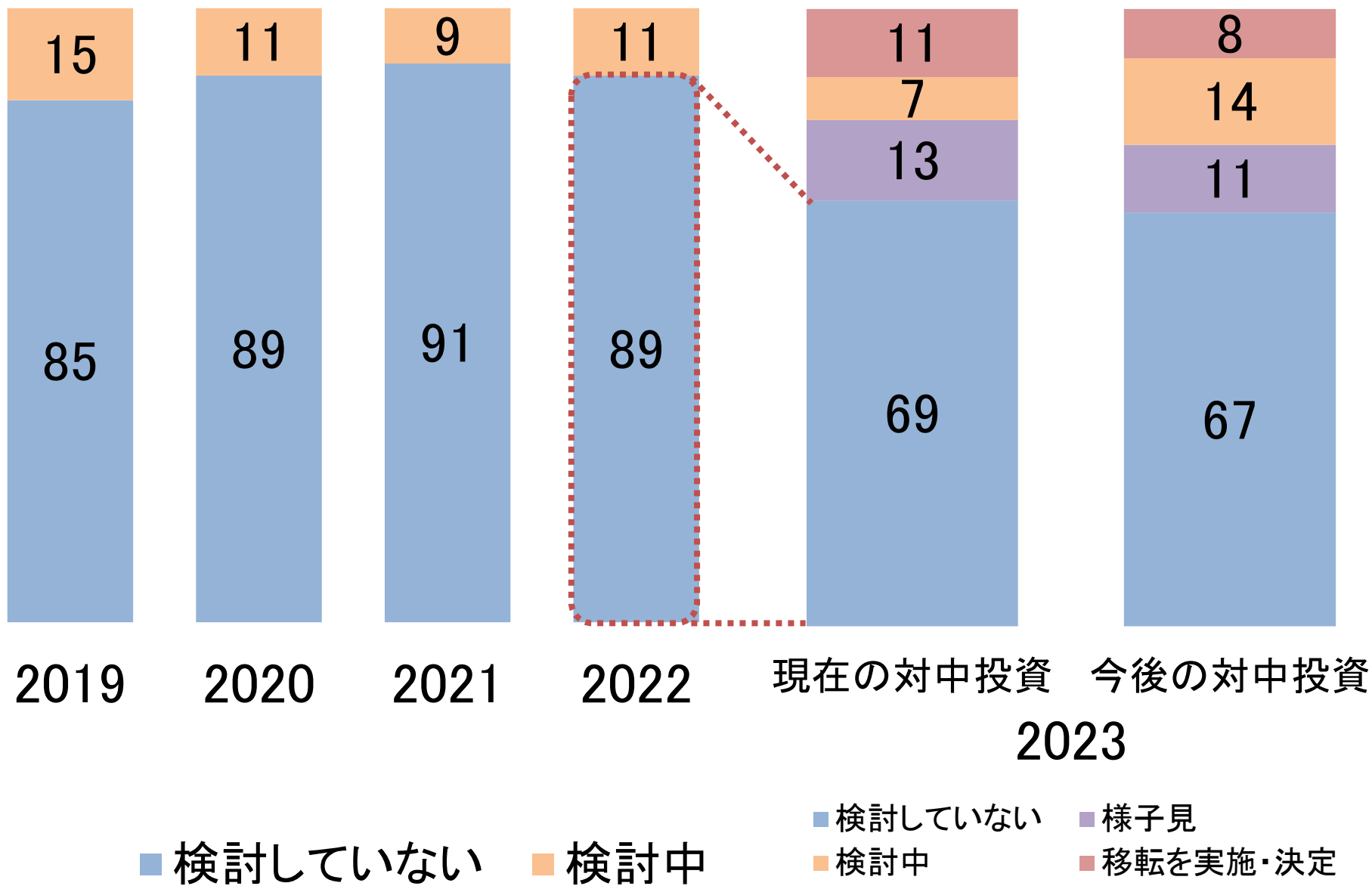
③ 日本企業

# 中国ビジネスにおける欧州企業のリスク



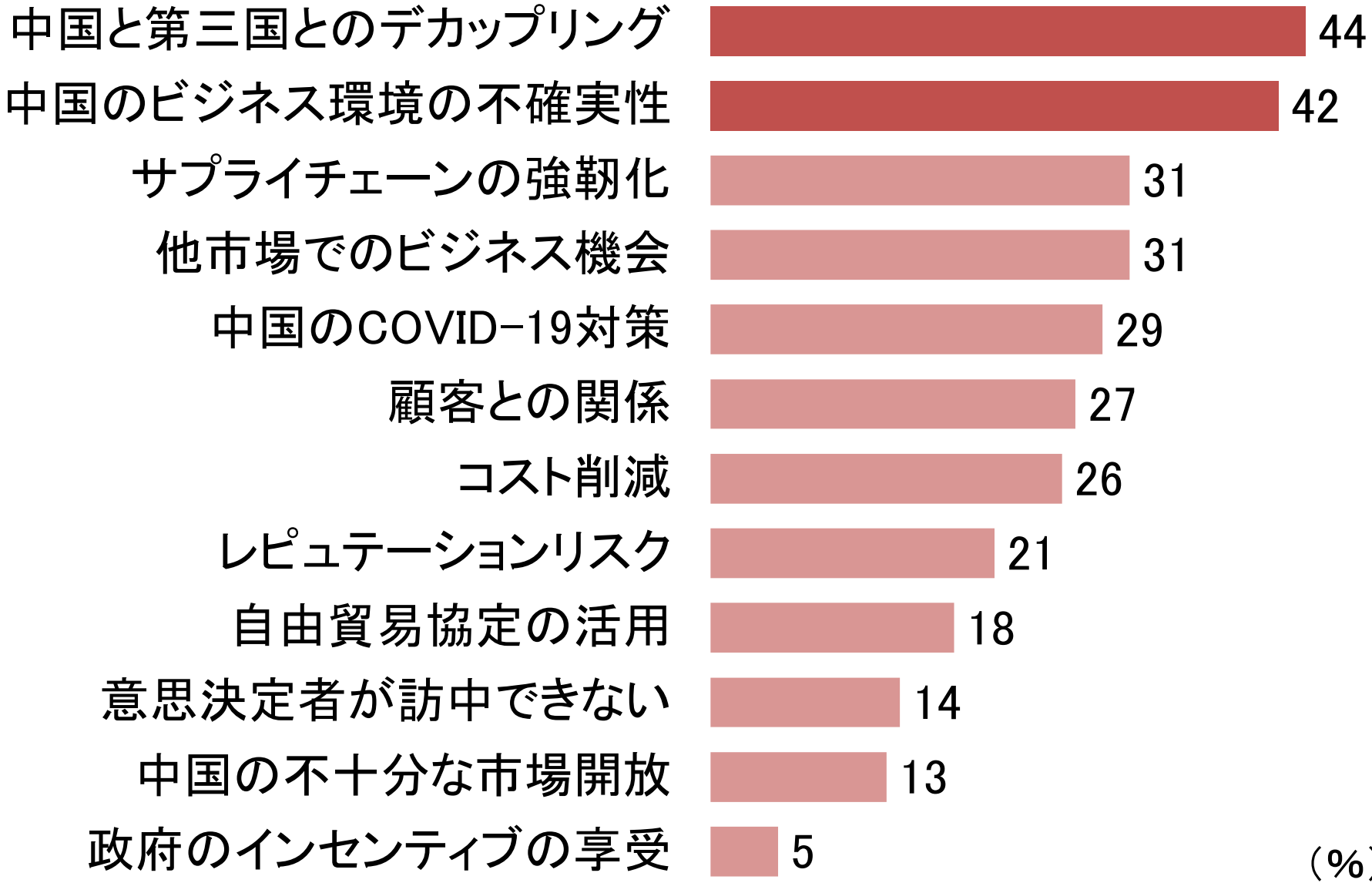
(出所) 中国EU商会「Business Confidence Survey 2023」(2023年6月)を基に作成

# 欧州企業の中国国外への投資の移転



(出所) 中国EU商会「Business Confidence Survey」各年版を基に作成

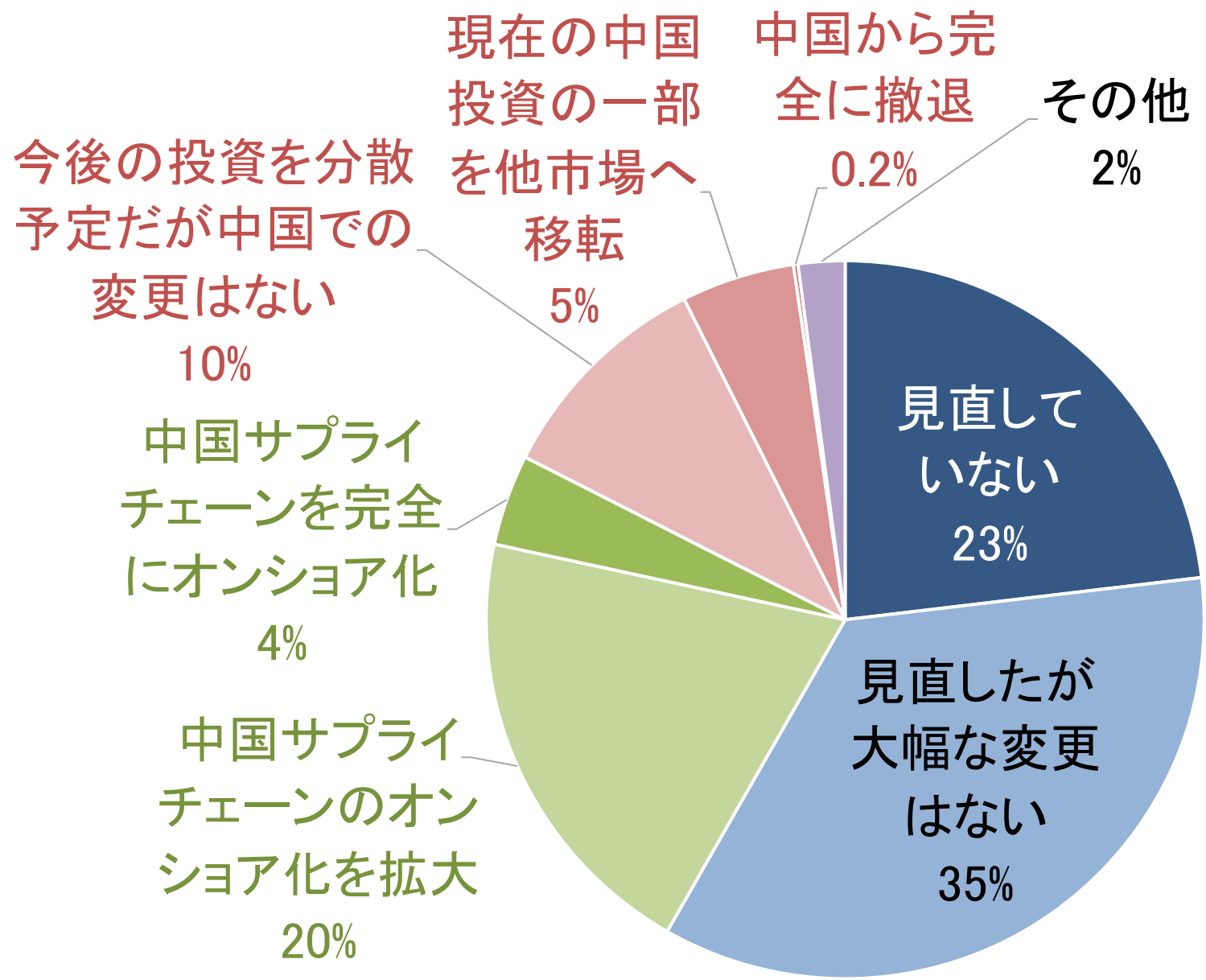
# 中国国外への移転を検討・実施する理由



(%)

(出所) 中国EU商会「Business Confidence Survey 2023」(2023年6月)を基に作成

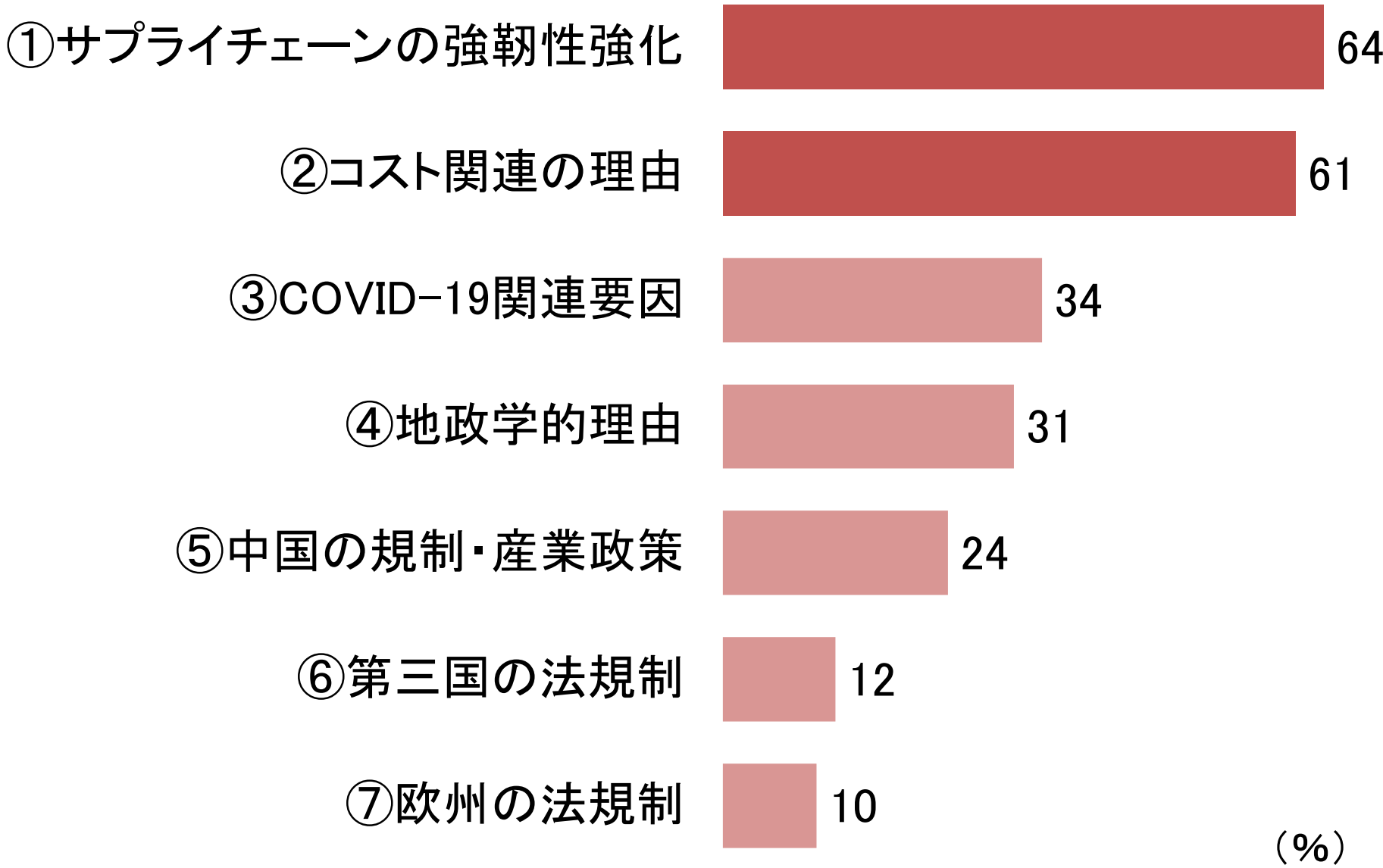
# 欧州企業のサプライチェーン見直し(過去2年間)



(出所) 中国EU商会「Business Confidence Survey 2023」(2023年6月)を基に作成

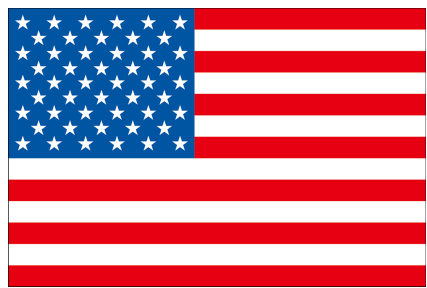


# 欧州企業がサプライチェーン戦略を見直す理由



(出所) 中国EU商会「Business Confidence Survey 2023」(2023年6月)を基に作成

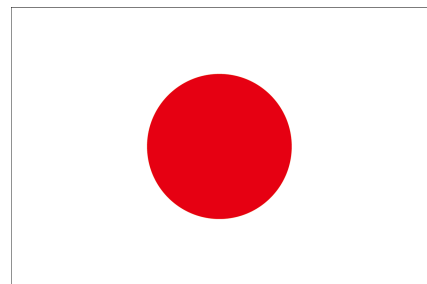
# 中国での日欧米企業の事業運営



① 米国企業

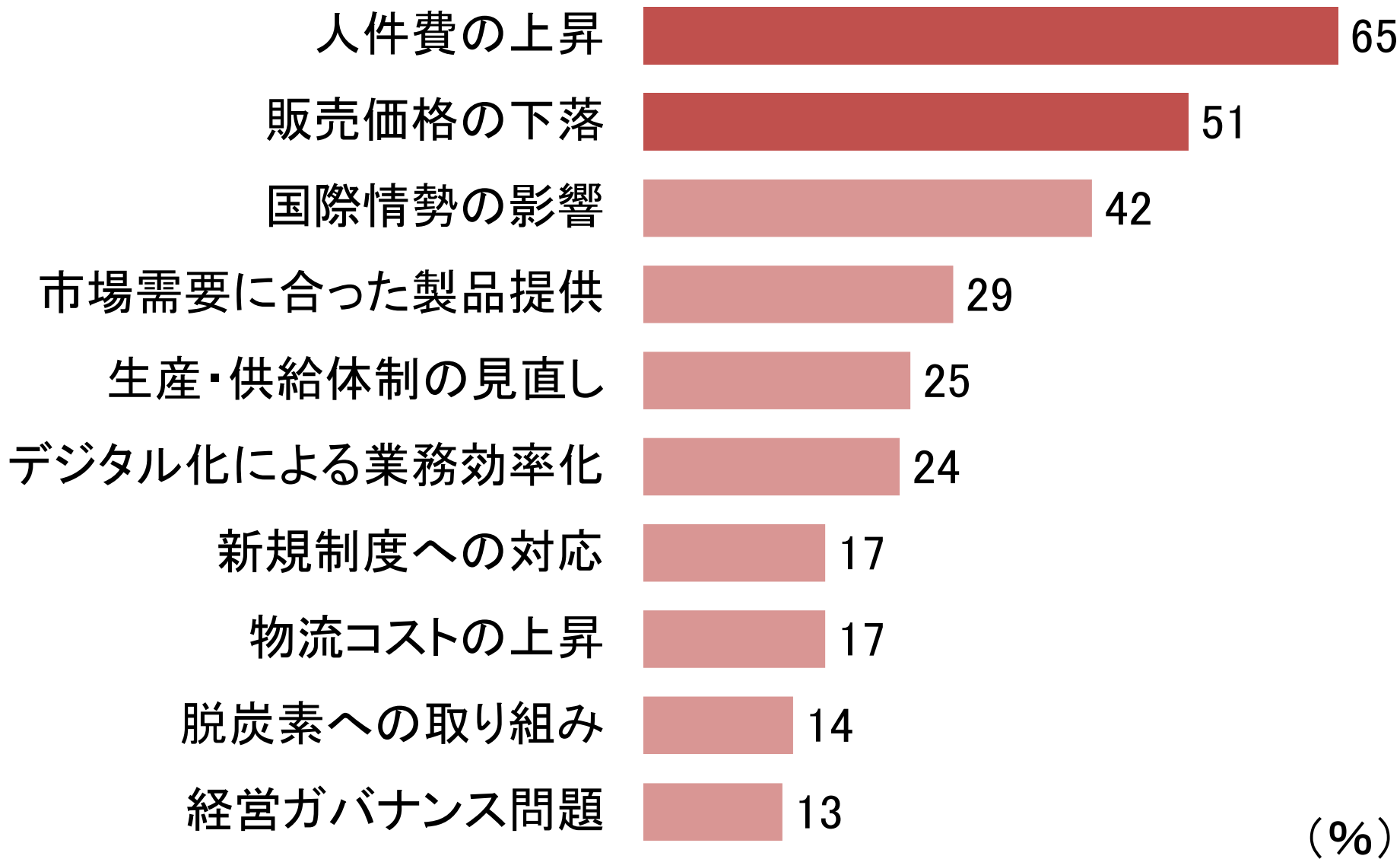


② 欧州企業



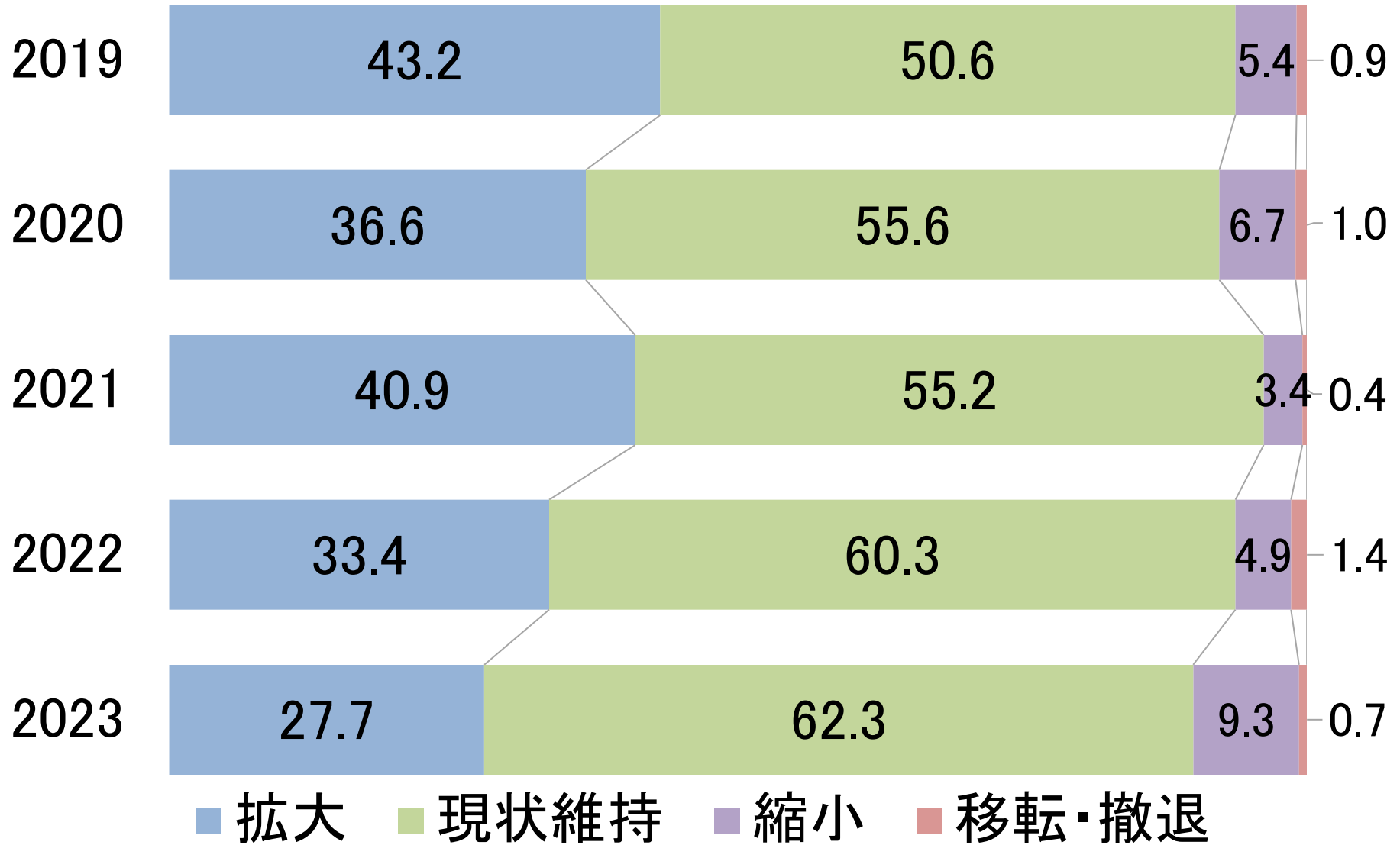
③ 日本企業

# 中国での事業経営における課題



(出所) 中国日本商会「会員企業景気・事業環境認識アンケート結果 第2回」(2024年1月15日)を基に作成

# 日本企業の中国事業展開の方向性

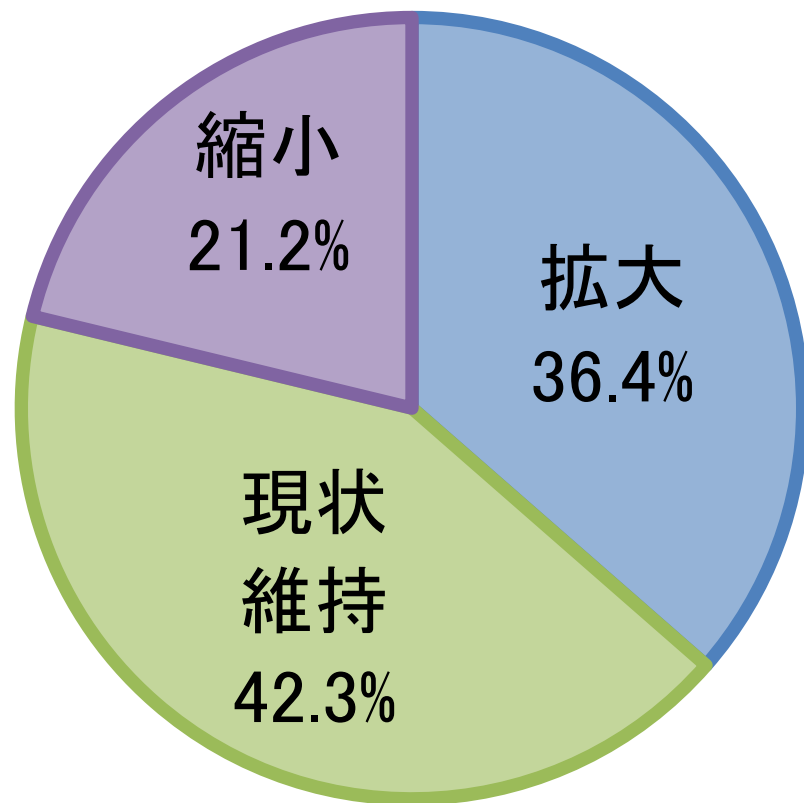
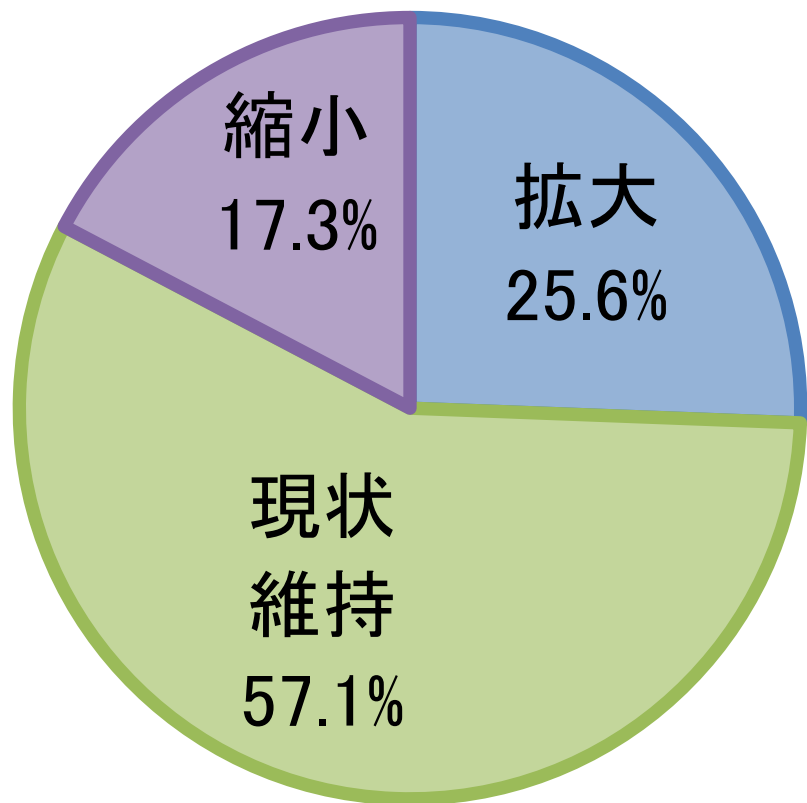


(出所)ジェトロ「2023年度 海外進出日系企業実態調査(アジア・オセアニア編)」(2023年11月)を基に作成

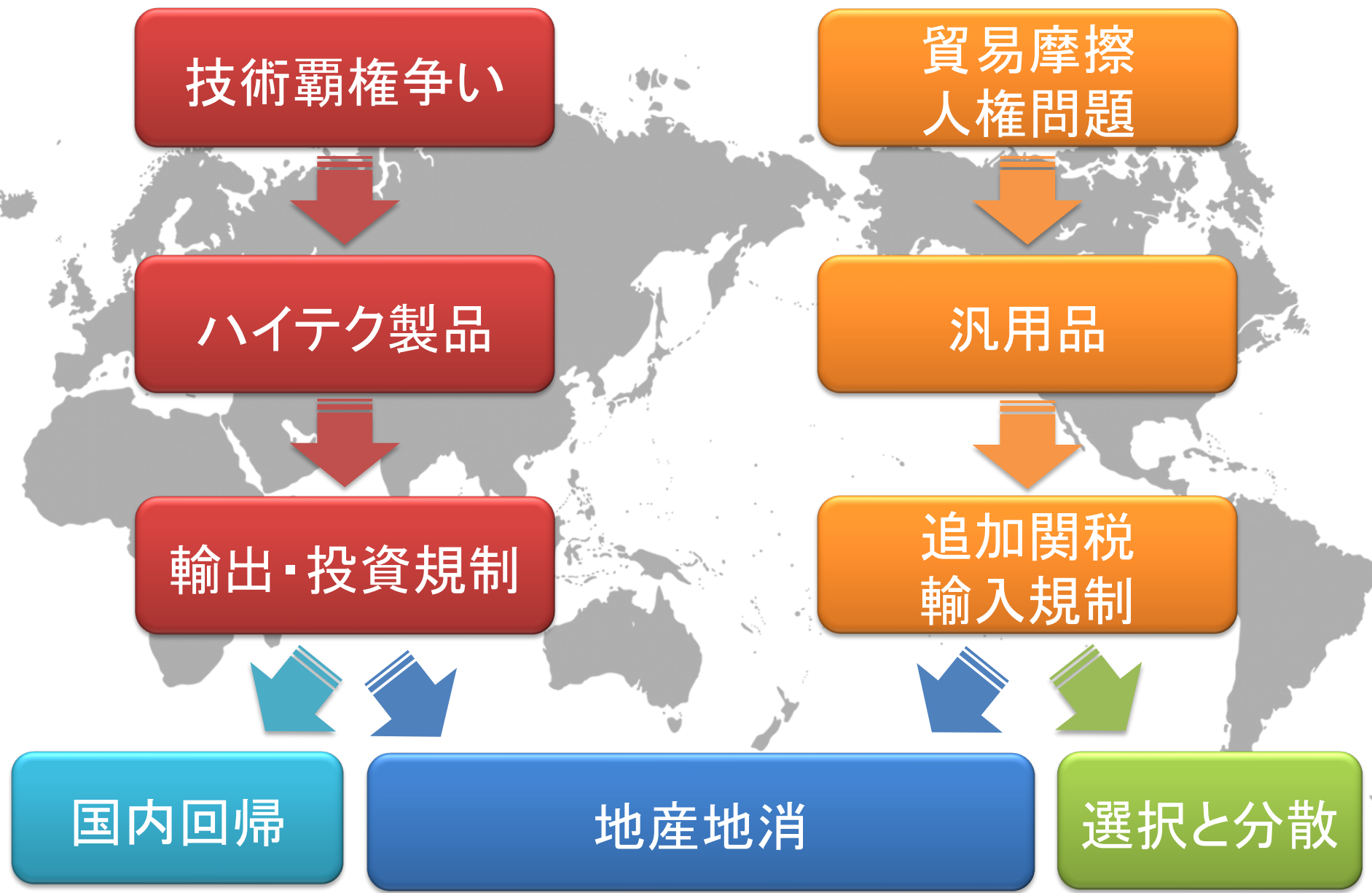
# 自社の売上に占める中国シェアの見通し

今後2～3年

今後5年以降

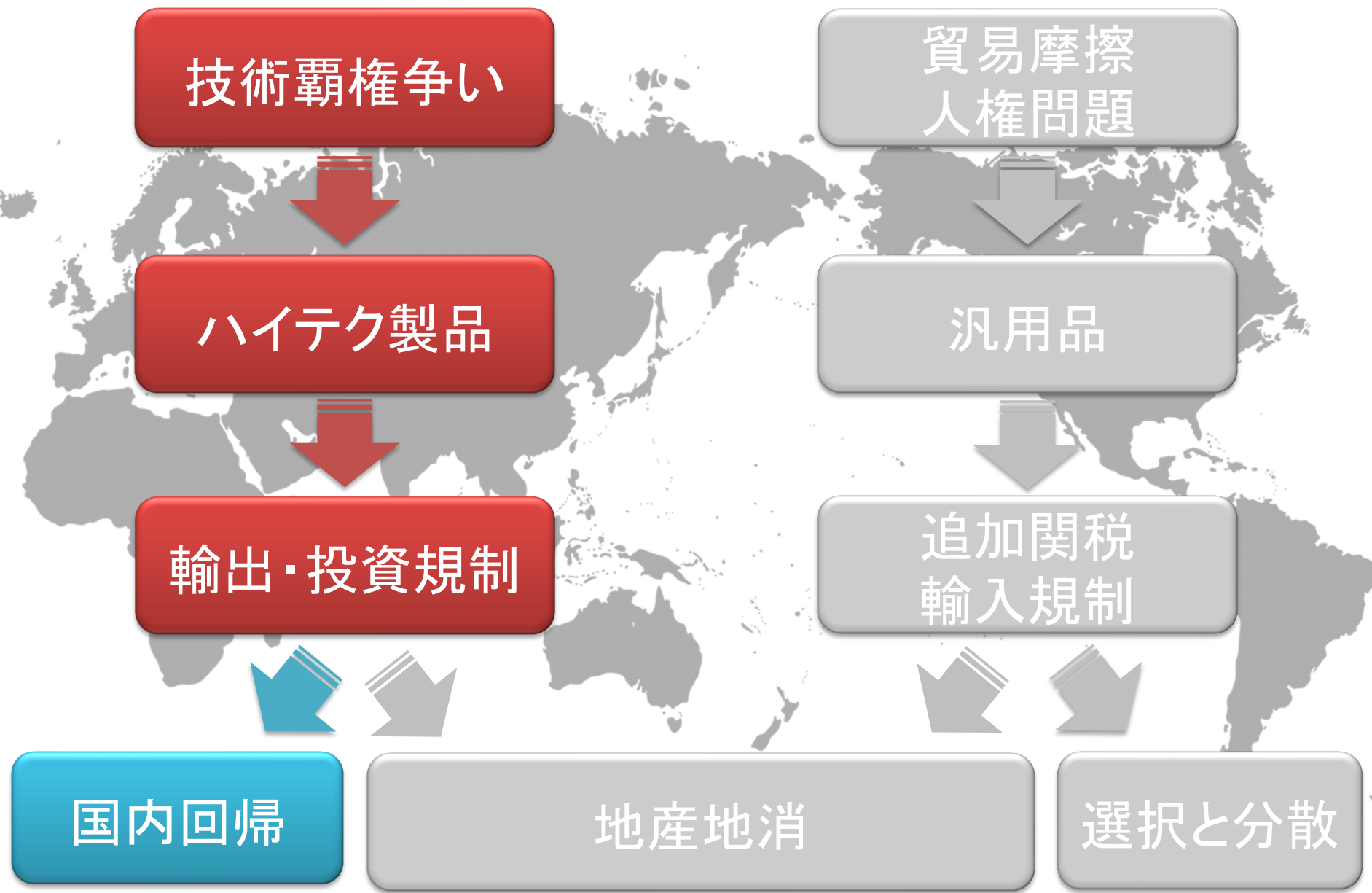


# 米中戦略競争下のサプライチェーン(イメージ)



(出所) 各種資料を基に作成

# 米中戦略競争下のサプライチェーン(イメージ)

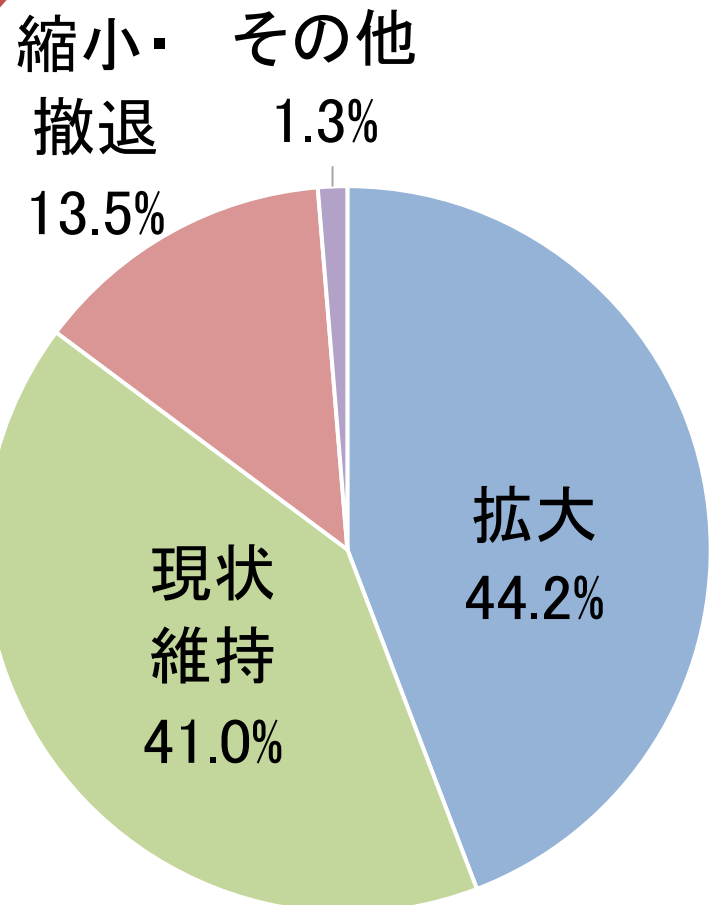
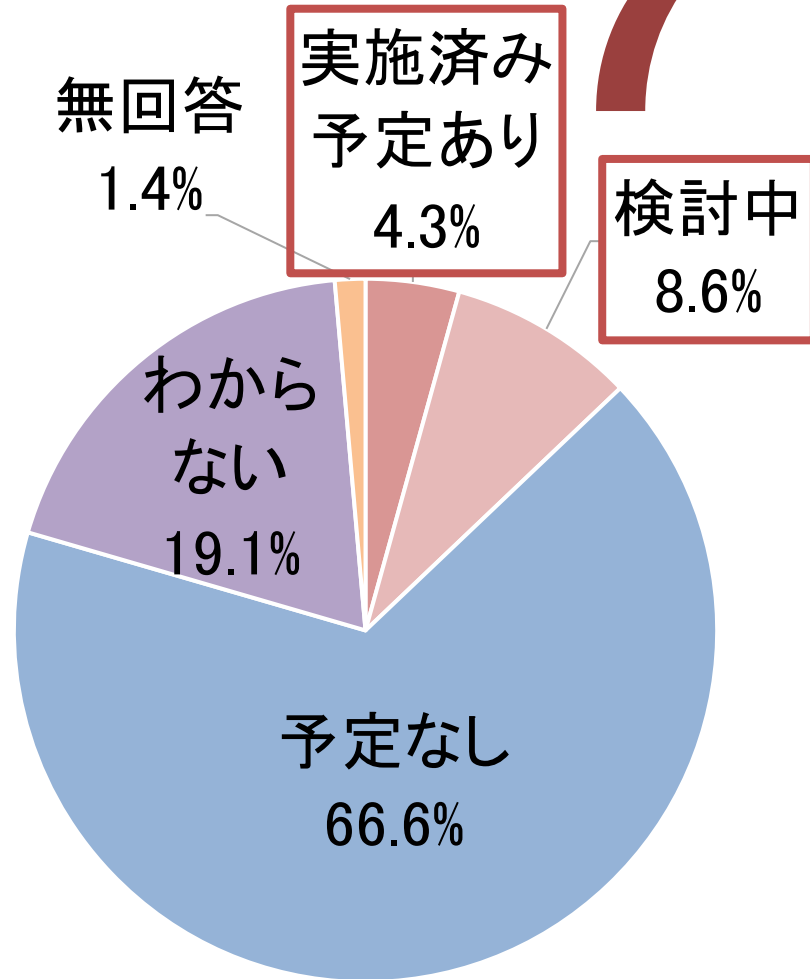


(出所) 各種資料を基に作成

# 日本企業の国内回帰の動向

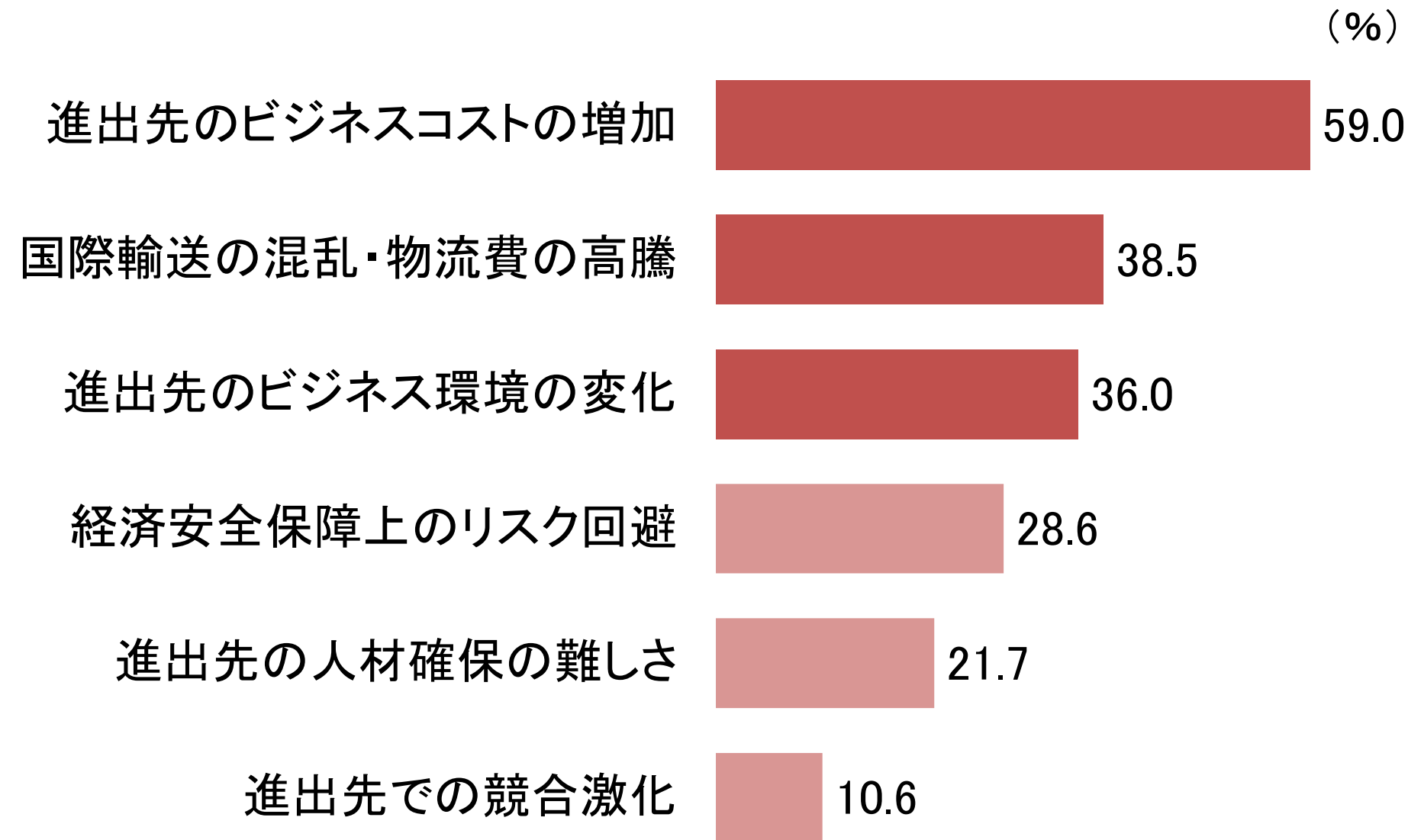
海外ビジネスの国内拠点  
への移管

国内移管を実施・検討中の  
企業の海外進出方針

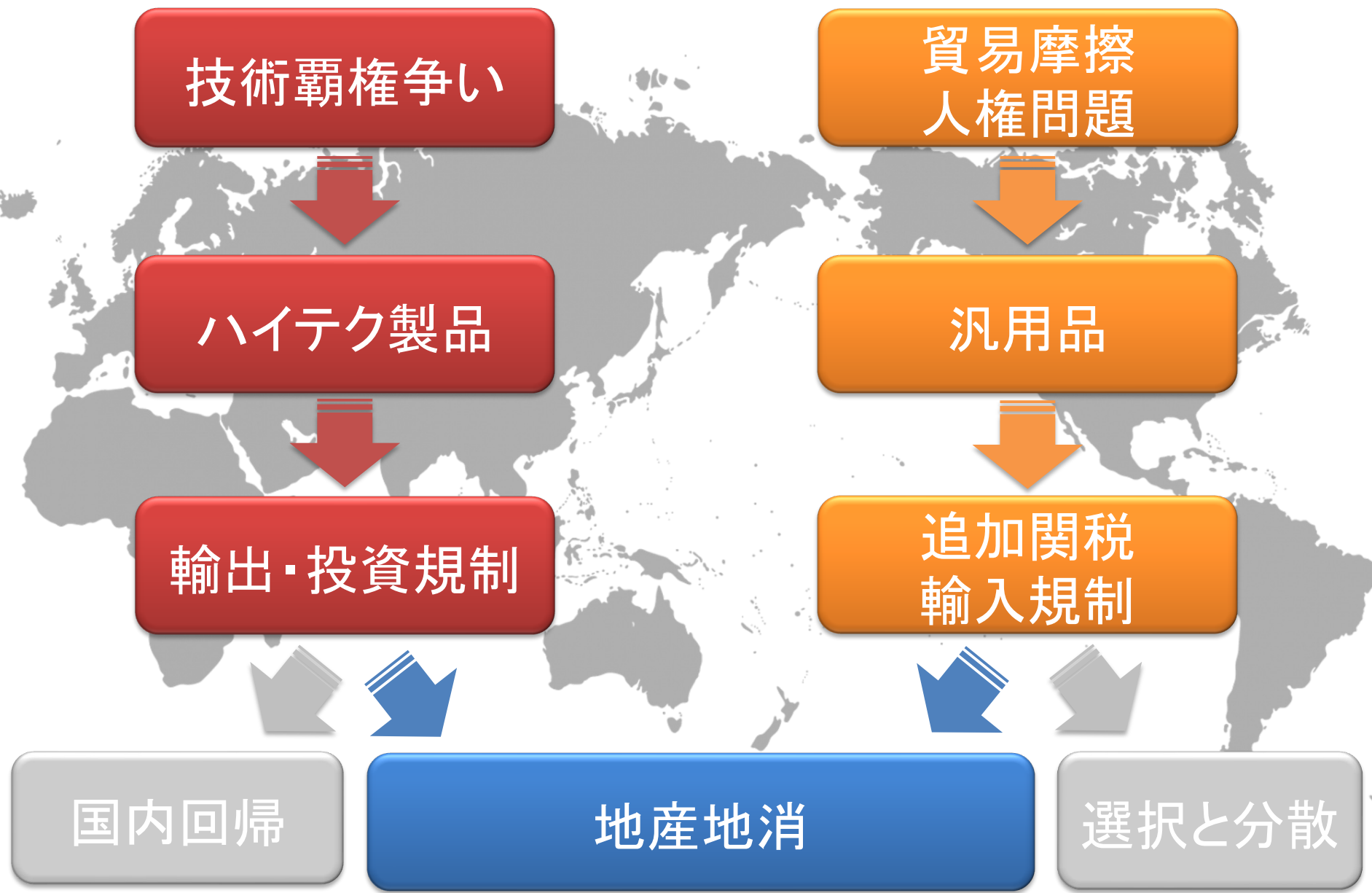




# 国内拠点への移管の背景



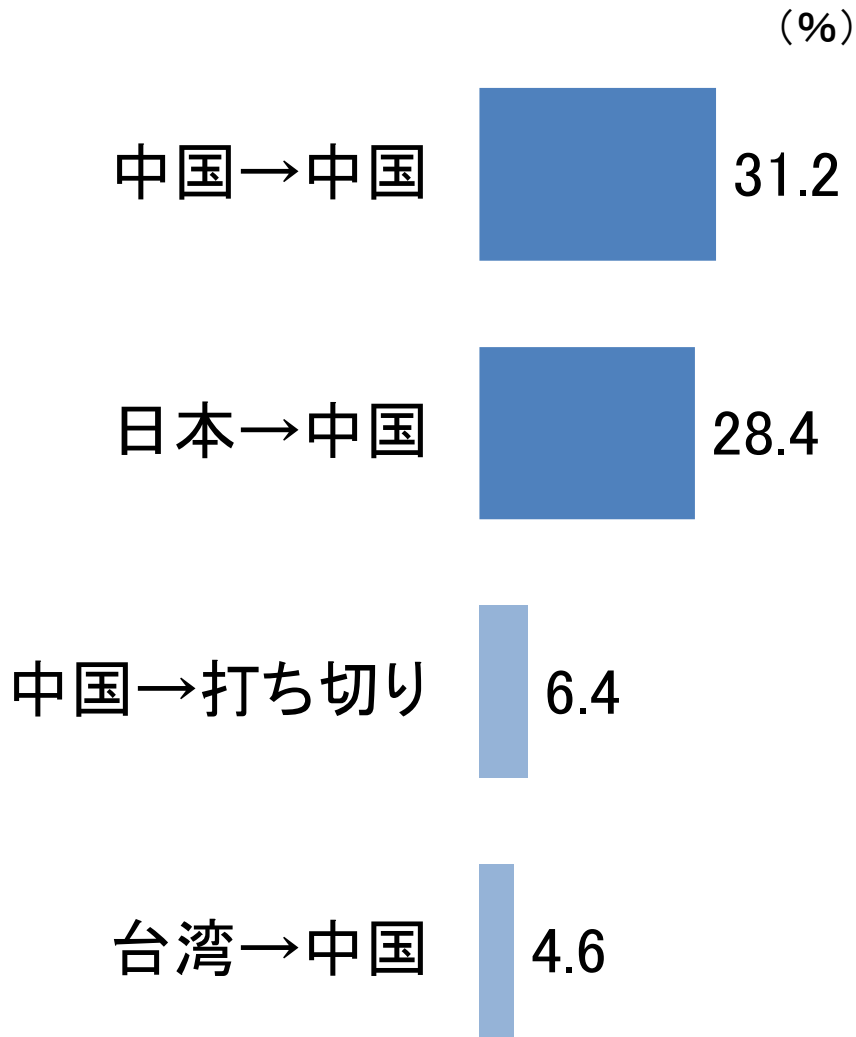
# 米中戦略競争下のサプライチェーン(イメージ)



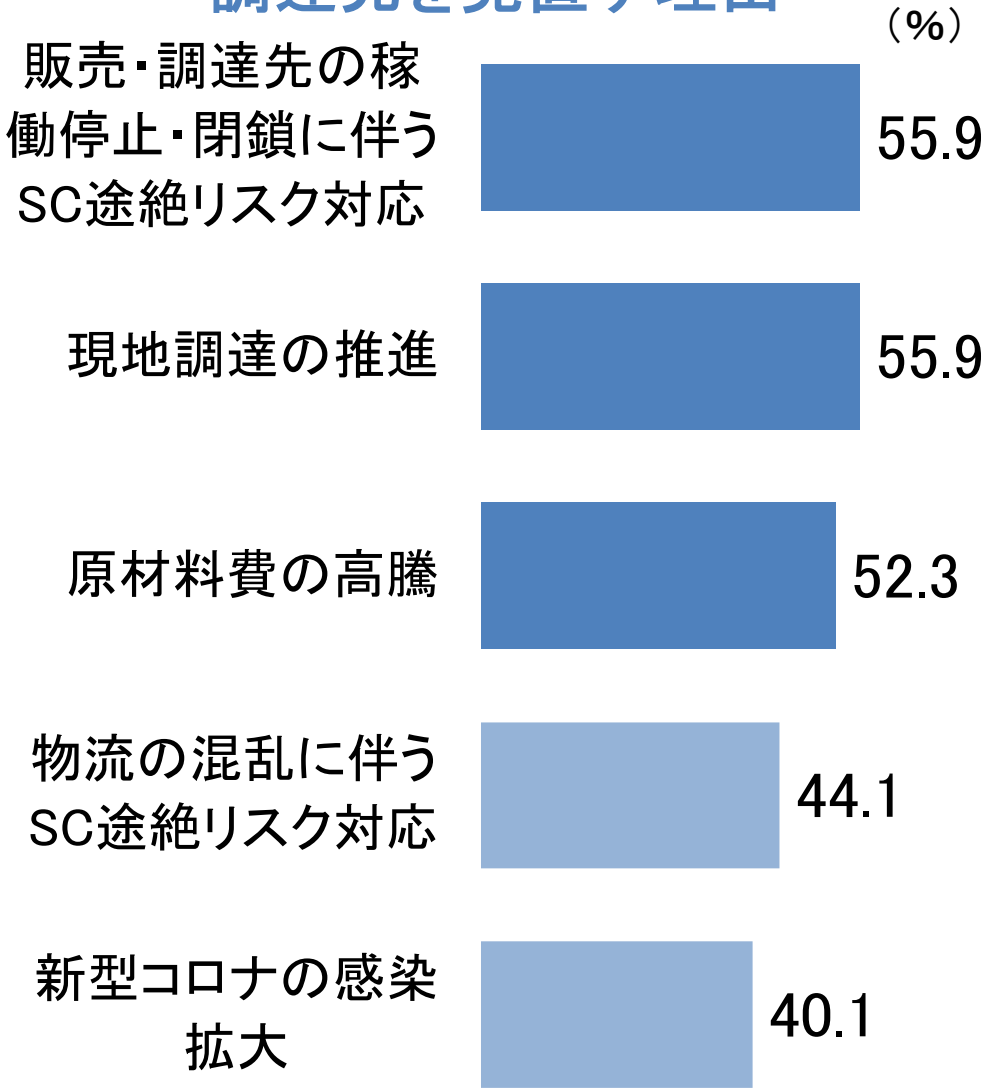
(出所) 各種資料を基に作成

# 中国進出日系企業の調達先の見直し

## 調達先見直しのパターン

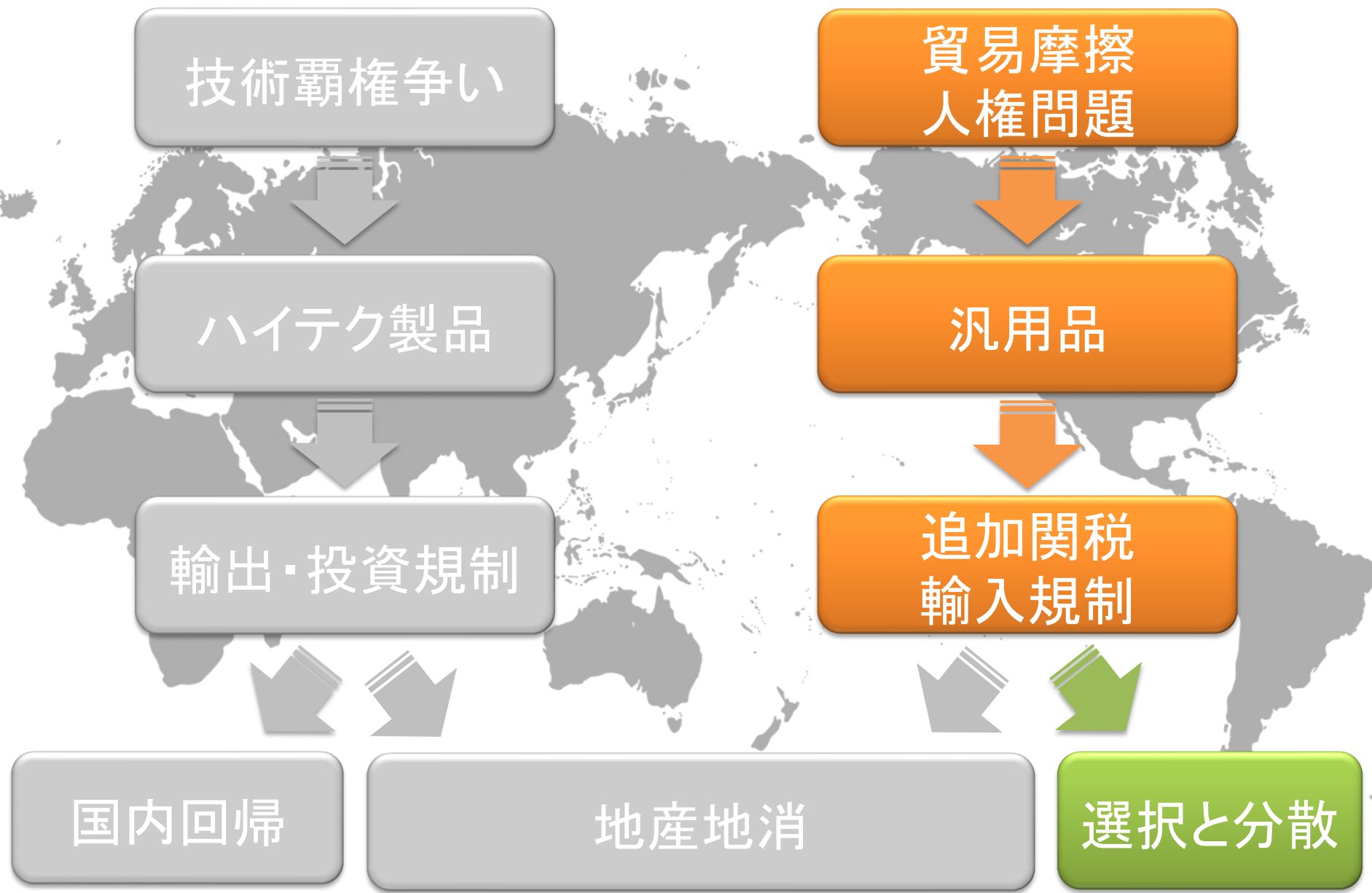


## 調達先を見直す理由



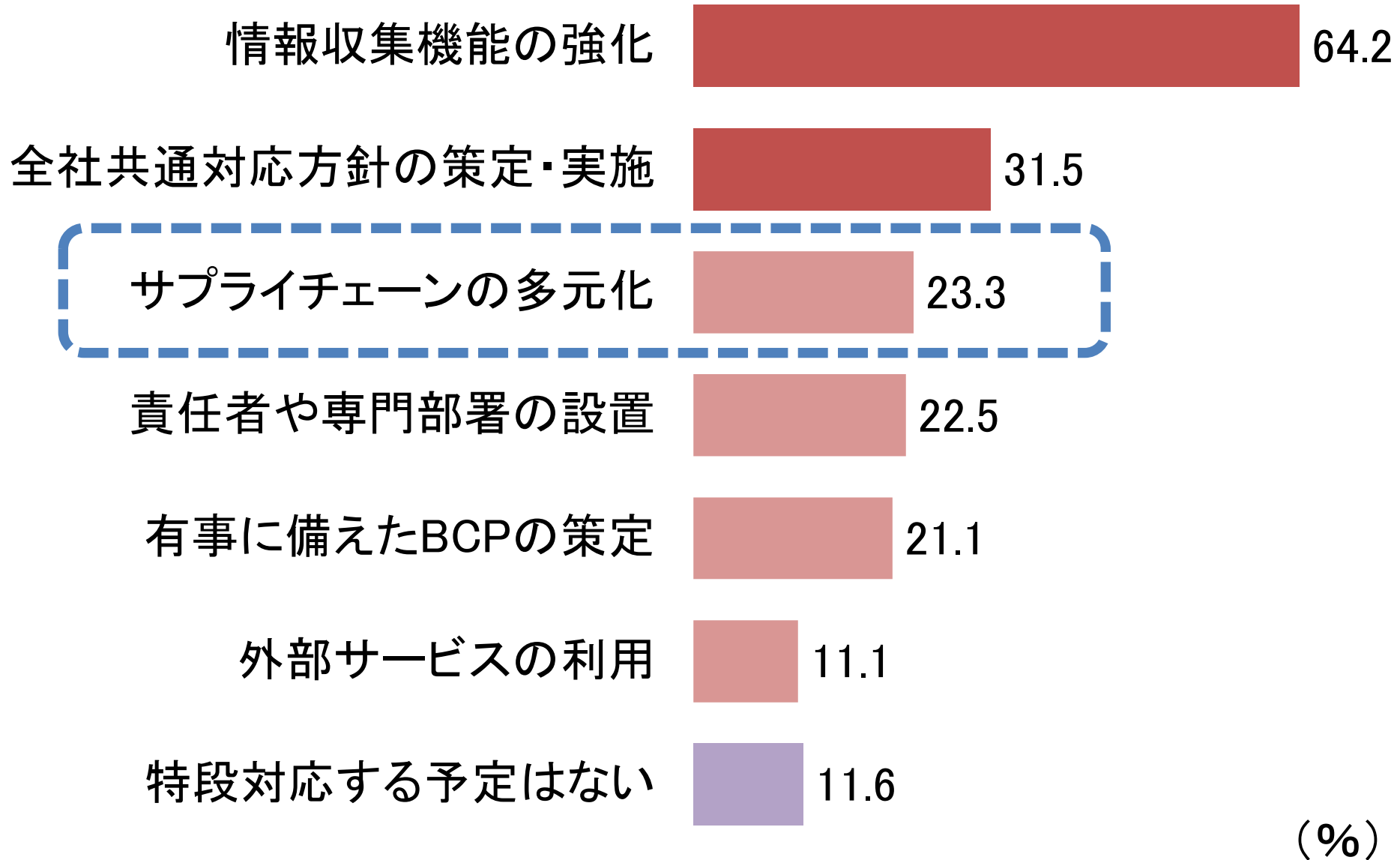
(出所) ジェトロ「2022年度 海外進出日系企業実態調査(中国編)」(2023年2月)を基に作成

# 米中戦略競争下のサプライチェーン(イメージ)



(出所) 各種資料を基に作成

# 経済安全保障に関わる体制や取り組み



(出所) ジェトロによるアンケート調査結果(2022年9月実施)

# 本日のまとめ

- ① 2022年の中国の貿易総額および輸出は世界1位、輸入は世界2位と、貿易大国としての地位を堅持しているが、2023年以降は外需の低迷などを背景に、主要相手国・地域との貿易が減少傾向にある。
- ② 2022年の中国の対内直接投資は世界2位だが、2023年第2四半期以降急減しており、商務部はその要因として、労働集約型企業の移転などを指摘している。対外直接投資は世界3位となったが、国・地域別では、米中対立などを背景に、ASEAN向けが増加傾向にある。
- ③ 欧米企業はデリスキングに対応し、生産・調達や投資を中国国外に移転する動きが一部に見られる。日本企業のサプライチェーン再構築の動きは、3つのキーワード(①国内回帰、②地産地消、③選択と分散)で総括できる。